SONY®

株式ターミナル

HB-T600

取扱説明書

目次

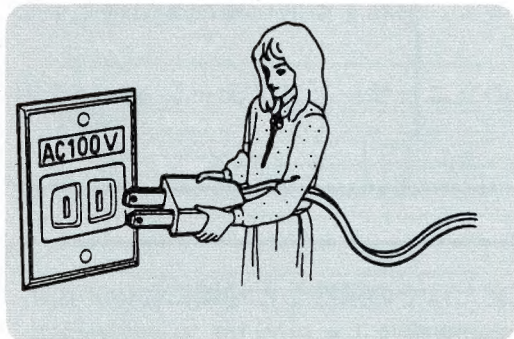
〔概要編〕

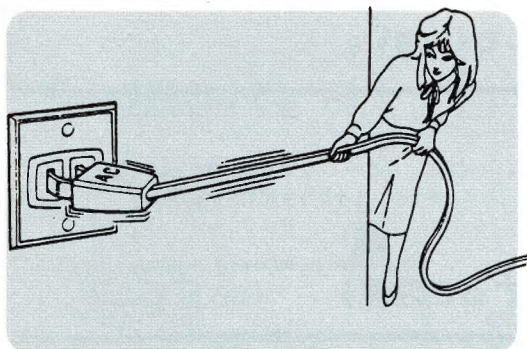
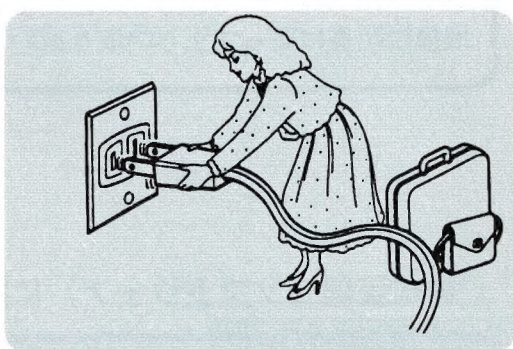
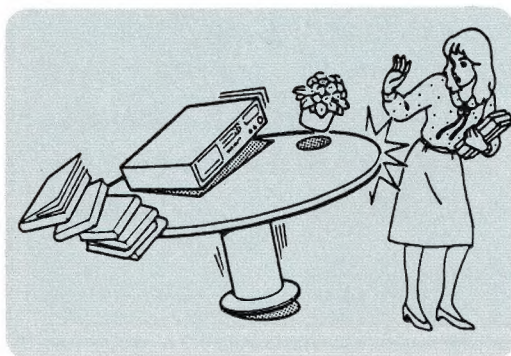
〔操作編〕

〔参照編〕

使用上のご注意

お買い求めの機器が、いつまでも高性能で快適に使っていただけるように、次のことにご注意ください。

●電源はAC100Vでお使いください。

●電源コードは傷つけないでください。

●電源プラグを抜くときは、プラグを持ってください。

●長い間使わないときは、電源コードを抜いてください。

●ぶつけたり、落としたりしないでください。

●テレビやラジオの近くで使われると雑音が入ったり、テレビの画像が揺れることがあります。

●暑いところや湿気の多いところに置いたり、内部に物を落とさないでください。

●汚れたら、かたくしぼった布でふいてください。

《機器に関するご注意》

電池について

HB－T600では、メモリー（記憶）内容を保持するためにリチウム電池を使っています。リチウム電池は約5年で消耗します。電池が消耗するとメモリー内容が失われますので、消耗する前に電池を交換する必要があります。
電池を交換するときは、もよりのソニーサービスステーションにご相談ください。

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接して使用になると受信障害の原因となることがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

《 株式管理（ソフトウェア）に関するご注意》

株式管理は、株式投資に関する本格的実用ソフトでいろいろな機能を持っていますが、実際の投資結果を保証するものではありません。
本ソフト使用によって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負い兼ねます。
また本ソフトは昭和62年3月現在での証券取引法、税法及び関連法律を基に作成しております。法律の改正が行われた場合、本ソフトの計算値が実際とそぐわなくなる場合があります。

HB-T600各部の名称と働き

《フロントパネル》

動作ランプ
ディスクへの書き込み内容の読み出し中に点灯します。

ディスク取り出しボタン

ディスク差し込み口

CARTRIDGE（カートリッジ）差し込み口

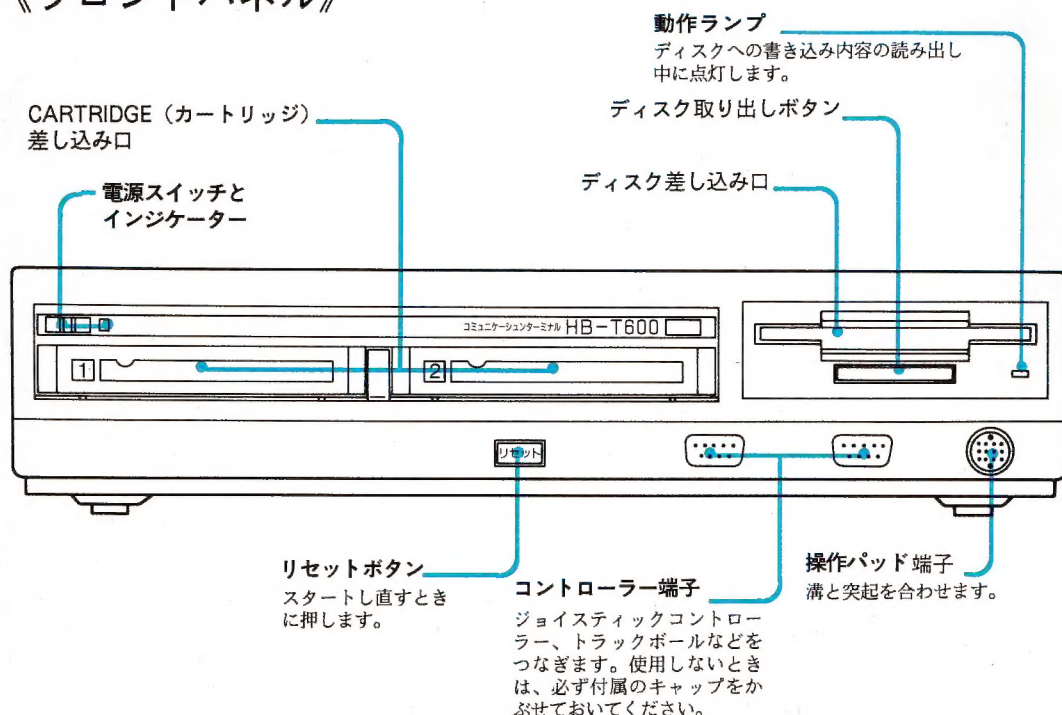
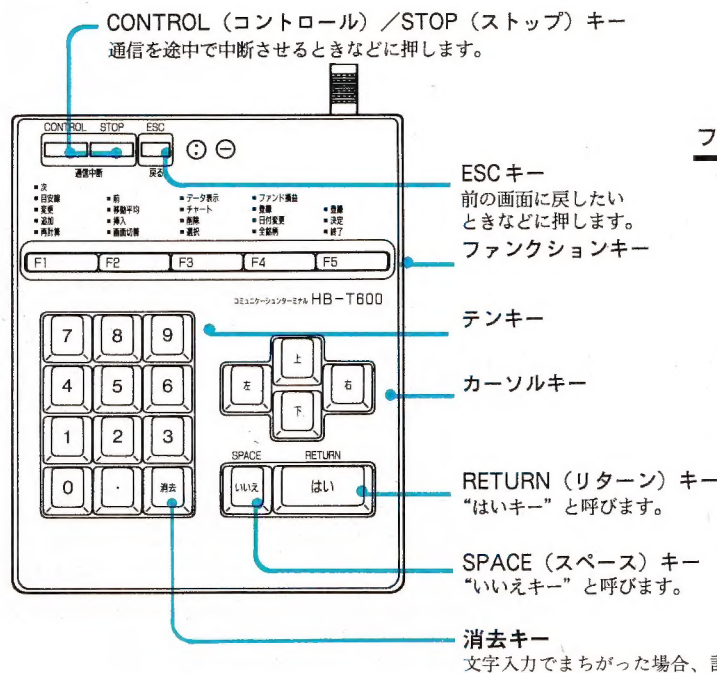
電源スイッチとインジケーター

リセットボタン
スタートし直すときに押します。

コントローラー端子
ジョイスティックコントローラー、トラックボールなどをつなぎます。使用しないときは、必ず付属のキャップをかぶせておいてください。

操作パッド端子
溝と突起を合わせます。

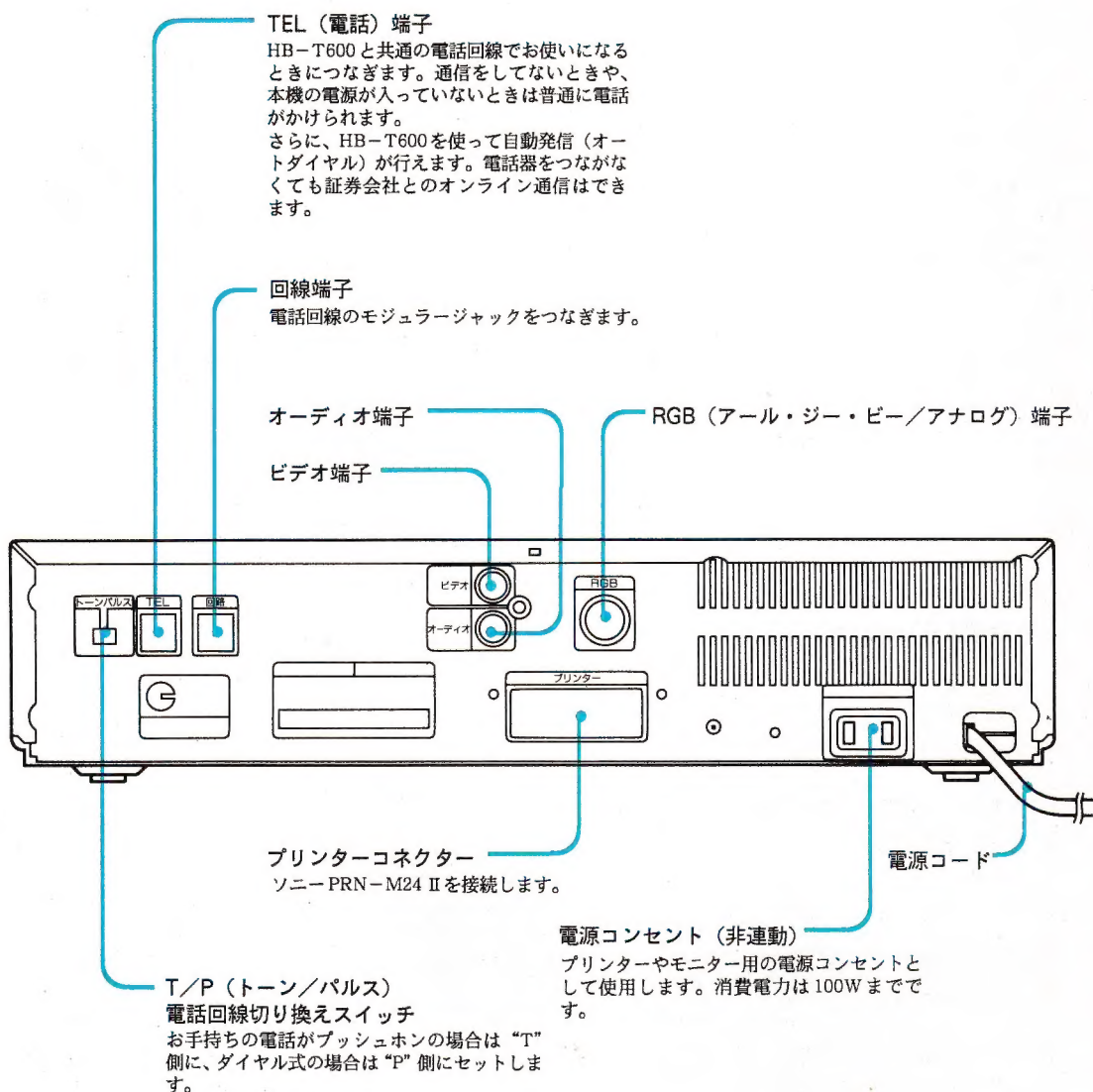
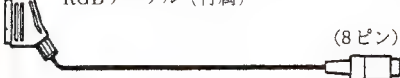
《専用操作パッド》

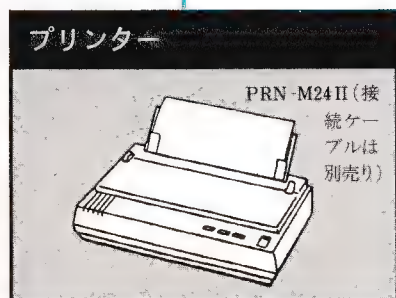
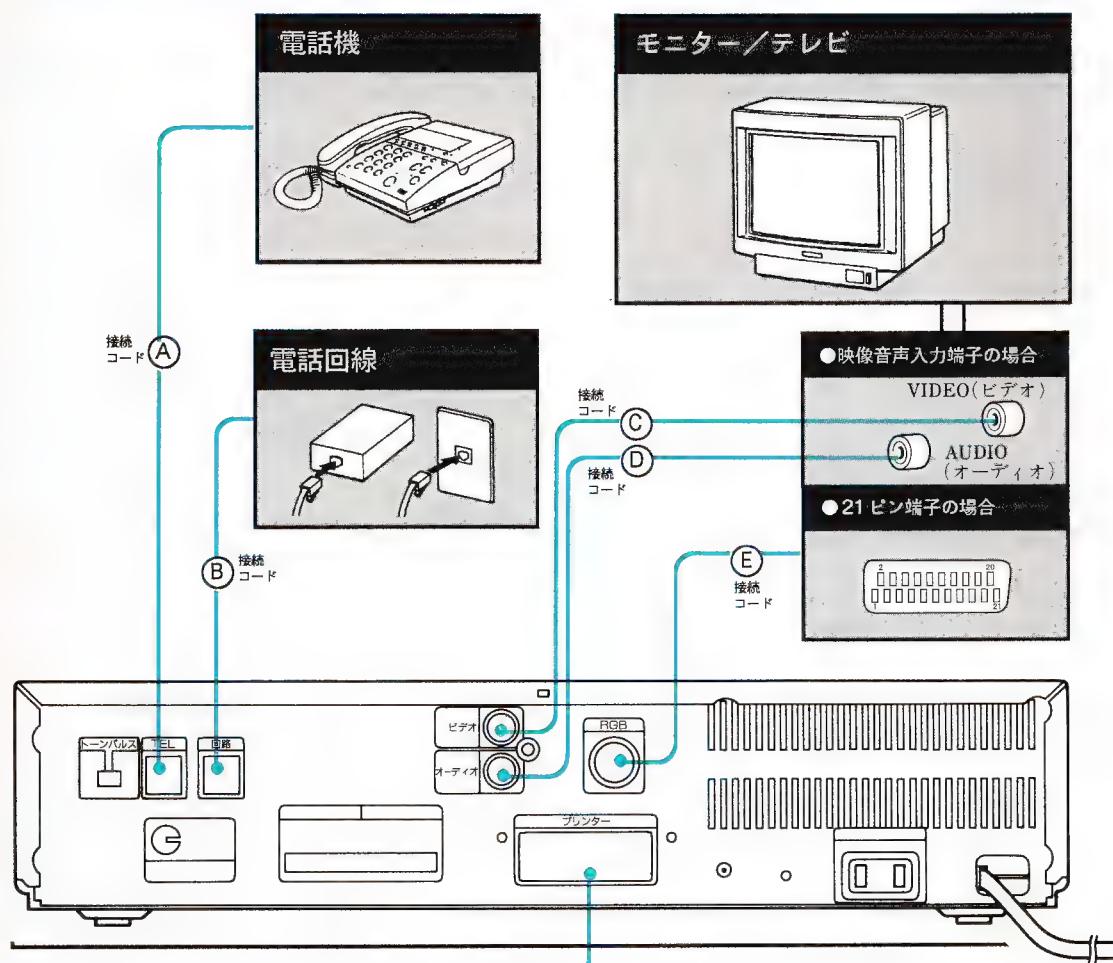
CONTROL（コントロール）／STOP（ストップ）キー
通信を途中で中断させるときなどに押します。

フルキーボード（オプション）**も使えます。**

この専用操作パッドの他にフルーキーボード（オプション）もご使用になれます。
フルキーボードをお使いになれば、証券会社とのホームトレードサービスの他に、各種ネットワークとのパソコン通信が可能になります。

消去キー
文字入力でまちがった場合、訂正に使います。

HB-T600各部の名称と働き

《リアパネル》

付属品	接続ケーブル		印刷物					
	映像用 接続ケーブル:2 (ピンプラグ) RGBケーブル:1	電話回線用 接続ケーブル:1 (モジュラープラグ)	取扱説明書	株式管理 オンライン サービスの案内	電話届け出用 ハガキ	保証書	サービス窓口 ご相談窓口の ご案内	ご愛用者 カード

必要な機器に接続しましょう

PRN-M24II
（接続ケーブルは別売り）

接続コード	コード名の種類
Ⓐ	電話機に付いている接続コード
Ⓑ	付属の接続コード
Ⓒ	映像接続コード（付属、黄）
Ⓓ	音声接続コード（付属、黒）
Ⓔ	RGBケーブル（付属）（8ピン）（21ピン）
Ⓕ	プリンター接続ケーブル（別売り）

パソコンホームトレードを始めるための手続き

1. 証券会社へ申し込みます

申し込みの前に

証券会社を決定します

パソコンホームトレードのサービス内容

●株価情報（日データ、週データ）
●株価照会（現在値、前日比、始値、高値、安値、終値、出来高）
●株式売買注文など
（くわしくは証券会社にお問い合わせてください。）

申し込みのしかた　（ご印鑑をお忘れなく）

1 お近くの証券会社窓口で、
『MSX2のソニーのHB－T600を使ってホームトレードサービスを受けたい』
と申し出ます。

2 窓口で口座開設用の用紙が渡されます。

※証券会社の取引口座がないとホームトレードはできません。
※すでに口座がある場合はそのむね伝えてください。

3 用紙に必要事項を記入して提出します。
口座開設！

IDコードなどが決定しますので、確実に聞いておいてください。

4 次に、「パソコン・ホームトレード利用申込書」の用紙が渡されます。

用紙に必要事項を記入して提出します。

2.NTTに申し込みます

申し込みの前に

1.NTTへの届け出。

添付のはがきに、住所、氏名、電話番号などを記入の上、押印して切手を貼り、NTTへ郵送してください。

2.証券会社に、利用できる回線の種類を確認します！

●通常の電話回線か

あるいは

●DDX－TPか

3.使用する電話を決めておきます！

DDX－TPの場合

通常の電話回線の場合

申し込みのしかた　（ご印鑑をお忘れなく）

1 お近くのNTTに直接出向くか、電話で『MSX2のソニーのHB－T600で証券会社とのパソコンホームトレードを始めるので、DDX－TP回線を設けてください』と申し出ます。

※NTTに申込み用紙があります。

NTTの申し込み用紙に必要事項を記入のうえ提出。（持参でも郵送でも可）

2 モジュラーコンセントの工事依頼

すでに、コンセントがモジュラータイプの場合は➡4へ	コンセントがモジュラータイプではない場合は➡3へ

3 後日、NTTから工事日などの連絡があります。

●HB－T600の設置場所を決めておくことをお忘れなく。

●直接NTT窓口に申込書を提出すれば、その場で工事日などが決定します。

《工事までに一週間ほどかかります。》

4 工事終了。

モジュラーコンセントに接続して完了。

※9ページの説明に従って接続します。

●DDX-TPについて

証券会社に、DDX－TPの利用が可能かどうかを確認してください。

契約する証券会社のホストコンピューターが遠距離にある場合、NTTのDDX－TP（第2種パケットサービス）を利用すると、電話料金が通常の電話回線使用よりお得になる場合があります。DDX－TP利用がお得になるかどうかは証券会社にご相談ください。
DDX－TPは、NTTと契約（契約料：800円）を結ぶことでご利用になれますが、地域によってはこのサービスを受けられないこともありますので、お近くのNTTにお問い合わせください。

SONY®

株式チャート＋ポートフォリオ

株式管理プログラム

使い方

ここまでできる「株式管理」!!

入力されたデータから自動的に計算や表示をしてくれます。あなたは、何をしたいか指示するだけです。

1. 株式チャートの表示と印刷ができます

2. ポートフォリオ(保有株の分析・管理)

3. 売買代金計算ができます

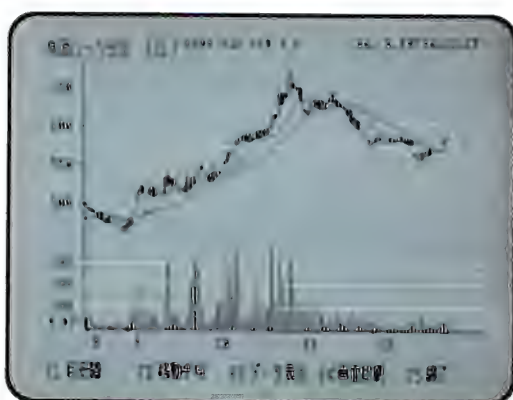
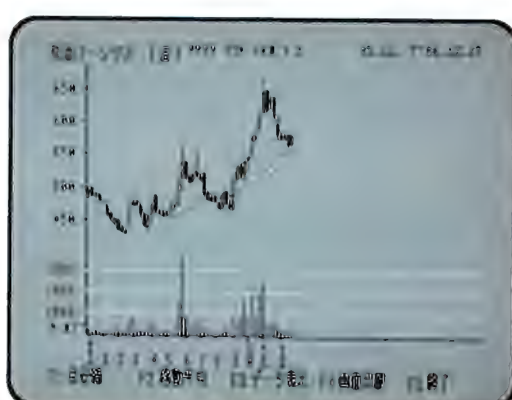
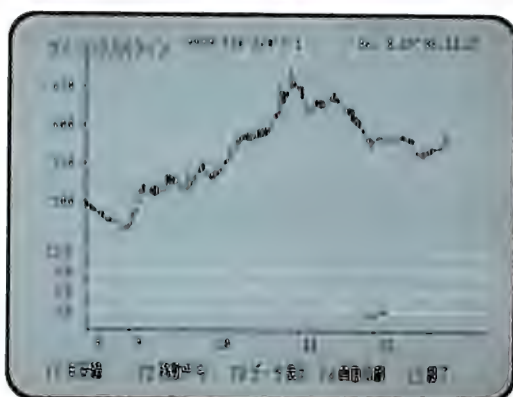
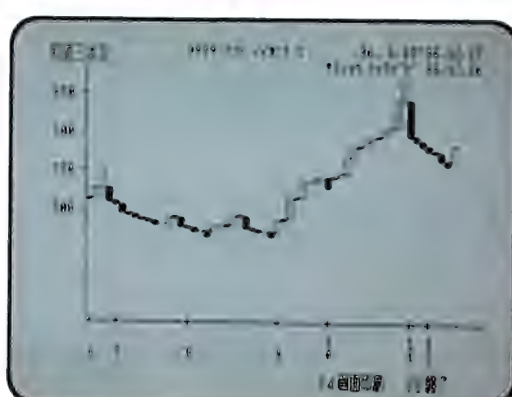
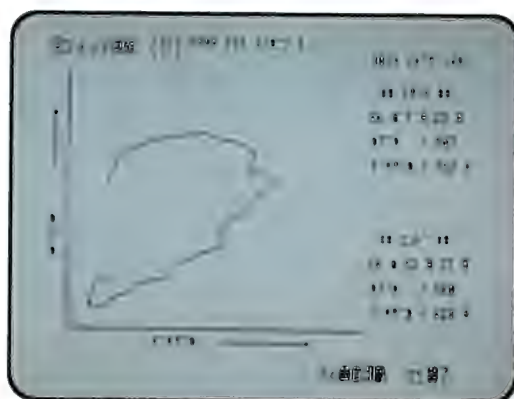
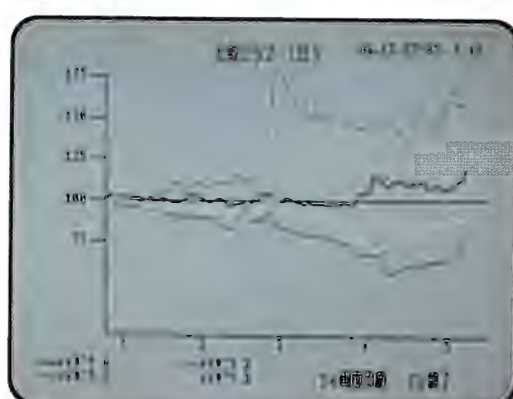
4. 銘柄管理ができます

5. 株価データの入力・修正ができます

6. メンテナンス(豊富な便利機能の充実)

7. 証券会社とオンライン接続できます

株式チャートの表示と印刷ができます

- ローソク足（日足／週足）
- サイコロジカルライン
- 新値三本足
- 逆ウォッチ曲線（日／週）
- 株価比較（日／週）
- 移動平均線
- 株価の目安線
- データ表示

株価ローソク足（日足）

株価ローソク足（週足）

サイコロジカルライン

新値三本足

逆ウォッチ曲線

株価比較

2 ポートフォリオ（保有株の分析・管理）

- ファンドの設定・変更
- 保有分析
  （時価評価表、評価損益グラフ、
  時価評価額構成比グラフ）
- 銘柄売買登録

評価損益グラフ
ﾋｮｳｶｿﾝｴｷ 千円 ■= 6000
-2■ -1■ 0 1■ 2■
1) ﾏｲﾌｧﾝﾄﾞ
NO. ｺｰﾄﾞ ﾋｮｳｶｿﾝｴｷ円 ﾘﾂ%
1) 9999 -450350 -43.7
2) 1000 -2386040 -54.7
3) 1001 4123720 299.6
4) 1002 1238355 24.9
5) 1003 8118510 455.7
6)
7)
8)
9)
10)
-800 -400 0 400 800
ﾘﾂ %
F4画面印刷 F5終了

評価損益グラフ

時価評価表

時価評価額構成比グラフ

3 売買代金計算ができます

- 受渡代金計算
- 売買損益計算
- 損益分岐点計算

売買損益計算
ｶﾌﾞｽｳ : 8,000 ｶﾌﾞ
ｶｲｶﾌﾞｶ : 2,587 ｴﾝ
ｶｲﾈﾝｶﾞｯﾋﾟ : 87年 7月 17日
ｳﾘｶﾌﾞｶ : 2,950 ｴﾝ
ｲﾀｸﾃｽｳﾘｮｳ : 345,072 ｴﾝ
ﾄﾘﾋｷｾﾞｲ : 129,800 ｴﾝ
ｶﾞｲｶﾞｲｿﾝｴｷ : 2,429,128 ｴﾝ
F1 再計算 F5 終了

売買損益計算

損益分岐点計算
ｶﾌﾞｽｳ : 25,000 ｶﾌﾞ
ｶｲｶﾌﾞｶ : 1,980 ｴﾝ
ｶｲﾈﾝｶﾞｯﾋﾟ : 87年 8月 11日
ｿﾝｴｷﾌﾞﾝｷﾃﾝ : 2,019 ｴﾝ
ｲﾀｸﾃｽｳﾘｮｳ : 692,925 ｴﾝ
ﾄﾘﾋｷｾﾞｲ : 277,612 ｴﾝ
ｶﾞｲｶﾞｲｿﾝｴｷ : 4,463 ｴﾝ
F1 再計算 F5 終了

損益分岐点計算

4 銘柄管理ができます

●銘柄登録・変更

株価データ

5 株価データの入力・修正ができます

銘柄管理（銘柄登録・変更）

6 メンテナンス(豊富な便利機能の充実)

- ●データ印刷
- ●週データ自動計算
- ●権利落ち情報登録
- ●手数料テーブル登録
- ●ディスクコピー
- ●日付／時刻
- ●画面調整

データ印刷

手数料テーブル登録

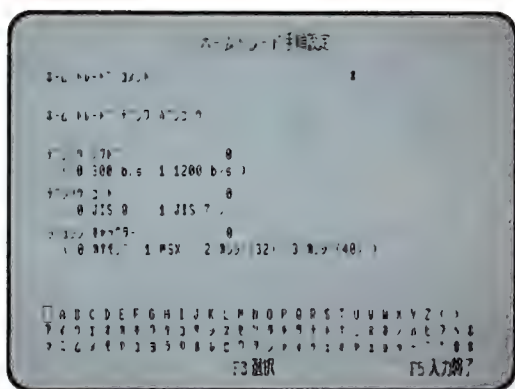
ディスクコピー

証券会社とオンライン接続できます

- ホームトレードサービス
- 株価データ受信
- 受信銘柄記憶
- ホームトレード手順の設定
- 株価データ受信手順の設定

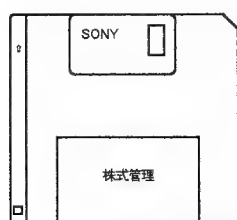
ホームトレードサービス

株価データ受信

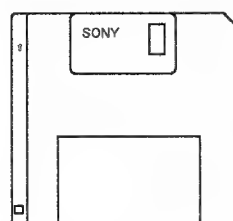
株価データ受信手順の設定

ホームトレード手順の設定

ディスクを用意しましょう

プログラムが入っているディスク

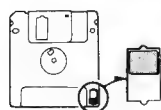
●「株式管理」のシステムディスク

このディスクには、「株式管理」プログラム、計算の基礎データなどが記録されています。また、あなたが入力したデータも記憶されるので、このディスクだけで、「株式管理」に働いてもらうことができます。

あなたが用意したディスク

●システムディスクのバックアップ（コピー）ディスク

「株式管理」のシステムディスクを全面的にコピーしたり、新しい株式管理のディスクを作成します。作成したディスクはシステムディスクとまったく同様に使用することができます。コピーの方法は6.メンテナンスを参照してください。

ディスクについてのご注意

取り扱いについて

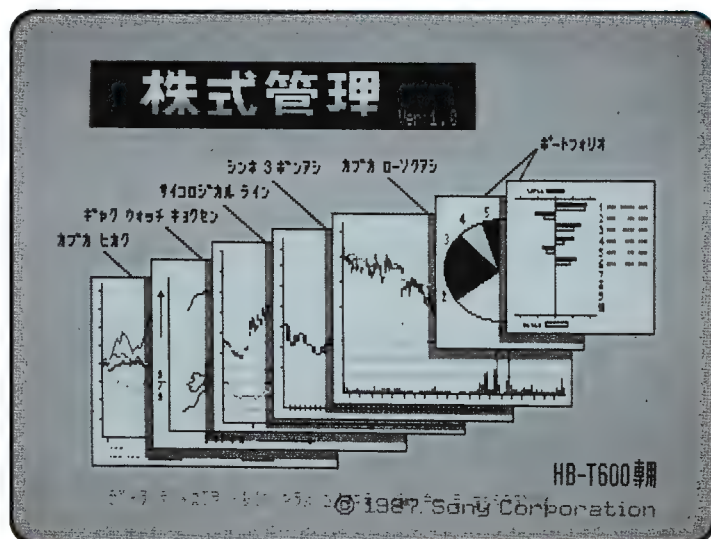
●ディスク面には触れないでください。
●システムディスクの書き込み防止用ツメは図の位置（プロテクトをかけない）にセットしてください。

次のような場所には置かないでください

●磁気を帯びたところ。（スピーカーの近くなど）
●直射日光のあたるところ。
●暖房器具の近く。その他、温度変化の激しいところ。
●保存・使用は10℃～52℃の範囲内で。

スタートしましょう

機器が正しく接続されているのを確認してください。(12頁のイラストおよび機器の取扱説明書参照)

1. モニター(TV)の電源をONにします。
2. コンピューター本体の電源をONにします。
3. システムディスクまたはデータディスクをディスクドライブ(A)に挿入します。
4. リセットボタンを押します。

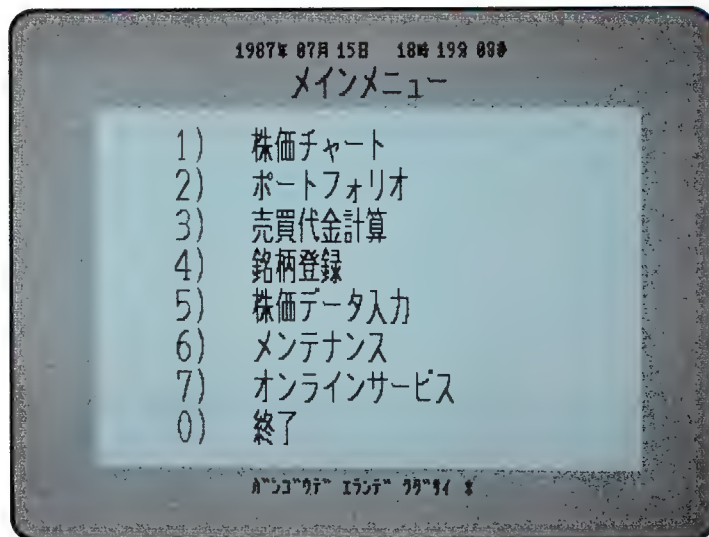
自動的に次の画面になります。

何かキーを押すと画面下に次の表示がでます。

データ　ディスクヲ　イレルカ　マタハ　コノママデ　　はいキー　ヲ
オシテ　クダサイ。

5. はい　(このマニュアルでは はい キーを押すという意味です。)

メインメニュー(次頁)になります。
注)データディスクを使う場合は、システムディスクを抜きデータディスクを挿入の後5.の操作をします。

こうして「株式管理」に働いてもらいます

下の画面の図は、株式管理のメインメニューです。

●株式管理のすべての操作は、まずこのメインメニューの中から選択して始めます。

●画面の下にガイドのメッセージがでています。（本書では下のように点線で囲んで表わします。）

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

●項目を選ぶ場合は、メニューの中から番号（画面では赤）を指定し、操作パッドから入力します。このときガイドメッセージの後の＊のところに、入力した数字が表示されます。（間違えた場合は［消去］キーを押して、数字を入力し直します。）
確認した後［はい］を押すと入力が確定され、コンピューターが指示内容を実行します。

画面の最上段に年月日、時間の表示が出ています。正しく表示されていない場合は、6.メンテナンスの 6）日付／時刻設定（98頁）を参照して調整してください。

●このように株式管理は、画面に表示されたガイドメッセージに従いメニューの中から番号で選んだり、ファンクションキー（F1変更　F2・・・・・ など と画面に表示　されます。）を押したり、数値を入力したり、カタカナやアルファベットを選択するだけの操作で、 ほとんどのことができます。

●本書は、一通りのことはすべて簡潔に説明してありますが、いくつかの操作をすれば、後は本書を見たり、操作を覚えていなくても画面に従って操作できるようになります。

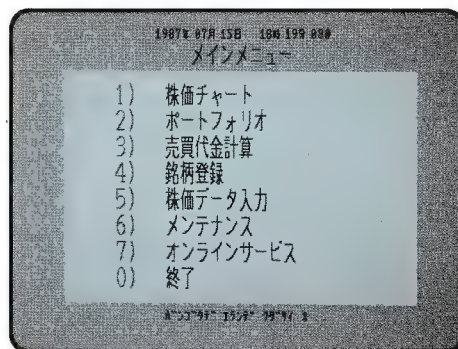
●メインメニューの項目に対応して、操作編でそれ以降の操作が説明してあります。全体の機能の構成は機能一覧表（23 頁）を参照してください。

メインメニューと機能一覧表

ここで各操作の項目を選択します。(各メニューの内容は次頁の機能一覧表参照。)最上段は、操作時の日時が表示されます。セットのしかたは 6) メンテナンス参照。

画　面　右の画面からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　*

操　作　選択したい項目を決めます。

以降の操作は

1) 株価チャートの場合は	1 はい	(⇨25頁)
2) ポートフォリオの場合は	2 はい	(⇨37頁)
3) 売買代金計算の場合は	3 はい	(⇨57頁)
4) 銘柄登録の場合は	4 はい	(⇨63頁)
5) 株価データ入力の場合は	5 はい	(⇨71頁)
6) メンテナンスの場合は	6 はい	(⇨79頁)
7) オンラインサービスの場合は	7 はい	(⇨101頁)
8) 終了したい場合は	0 はい	(終了画面になります。)

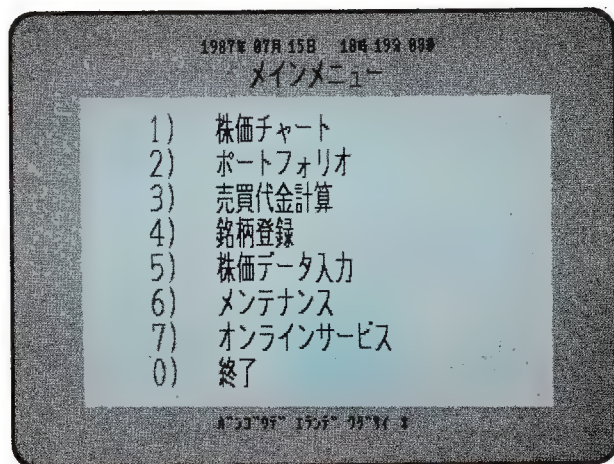
〔機能一覧表〕

1ステップ前に戻るには ESC
株式管理メインメニュー
1）株価チャート
1） 銘柄選択
2） 株価ローソク足（日）
3） 株価ローソク足（週）
4） サイコロジカルライン
5） 新値三本足
6） 逆ウォッチ曲線 （日）
7） 逆ウォッチ曲線 （週）
8） 株価比較
2）ポートフォリオ
1）保有分析
2）売買経過表
3）ファンド登録
4）売買登録
3 売買代金計算
1） 受渡代金計算
2） 売買損益計算
3） 損益分岐点計算
4）銘柄登録
F2 追加
F3 変更
F4 削除
F5 移動
5）株価データ入力
1） 日データ （全銘柄）
2） 週データ（全銘柄）
3） 日データ（銘柄別）
4） 週データ（銘柄別）
6）メンテナンス
1） データ印刷
2） 週データ自動計算
3） 権利落ち情報登録
4） 手数料テーブル登録
5） ディスクコピー
6） 内蔵タイマー設定
7） モニター調整
7）オンラインサービス
1） ホームトレードサービス
2） 株価データ受信
3） 受信銘柄の記憶
4） 通信手順設定

1. 株価チャート

入力された株価データから、コンピューターが各種チャートを自動的に作成します。
銘柄とチャートの種類を選択して画面に表示させます。移動平均線を表示したり、ハードコピーをとることもできます。

画　面

1）からスタートします。

※チャートを表示するためには、4.銘柄登録（63頁）と5.株価データ入力（71頁）によって株価のデータが入力されている必要があります。このソフトにはサンプルデータとしてテストメイガラが入力してあるので、ここではこれを使って操作の説明をします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

1　はい　を押します。

1. 株価チャート

株価の各種チャートを出してみましょう。

画　面　右の画面（株価チャートメニュー）からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデクダサイ　＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1. 上の株価チャートメニューの2）～7）までのチャートを表示する場合は、まず銘柄の選択をします。　[1] [はい]　（⇨27頁）
2. 株価比較（4銘柄までの指数化グラフを表示）をする場合は　[8] [はい]　（⇨34頁）
3. メインメニューへ戻る場合は　[0] [はい]

1) チャートの銘柄選択

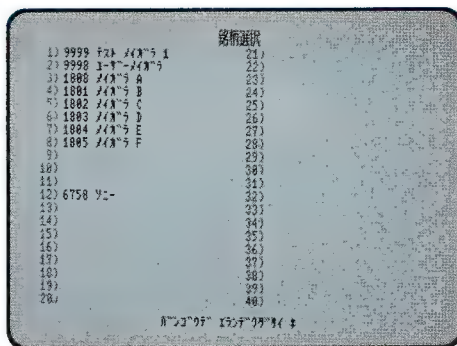
チャートを表示する銘柄を選択します。

画　面

右の銘柄選択の画面からスタートします。

例

1) テストメイガラ1を選び、100日分のチャート（日足）と30週分のチャート（週足）を表示する場合。

操　作

1 バンゴウデ　エランデクダサイ　＊

1）番を選択します。　[1] [はい]

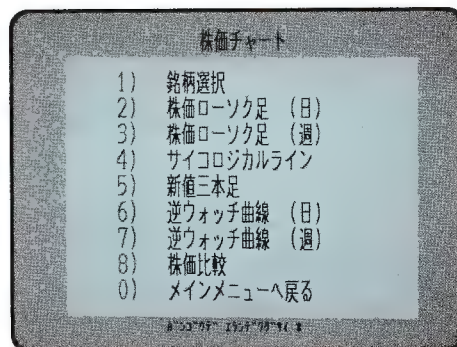
2 ナンニチブンノ　データヲ　ヨミコミマスカ？
（サイダイ　150ニチ）

100（日）を入力します。（注）　[1] [0] [0] [はい]

3 ナンシュウブンノ　データヲ　ヨミコミマスカ？
（サイダイ　56シュウ）

30（週）を入力します。（注）　[3] [0] [はい]

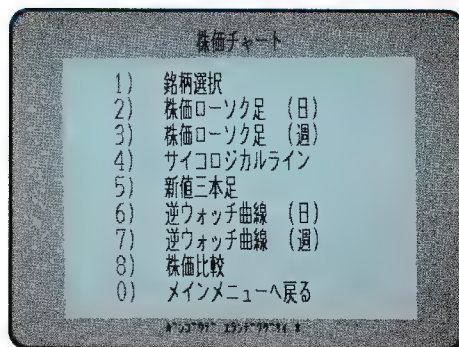
結　果

右の画面のように、株価チャートメニュー（前頁の画面と同じ）に戻りますが、この段階では銘柄が選択されています。

注）データが入力されている範囲内［画面にサイダイ　ニチ（シュウ）と表示］で決めます。日足のみのチャートしか表示させない場合は **3** の操作のかわりに [はい] でスキップしてもかまいません。週足のみのチャートの場合は **2** の操作を [はい] でスキップします。

2) チャートの表示

前頁で選択した銘柄のチャートを表示します。
各種のチャートを連続して表示することもできます。

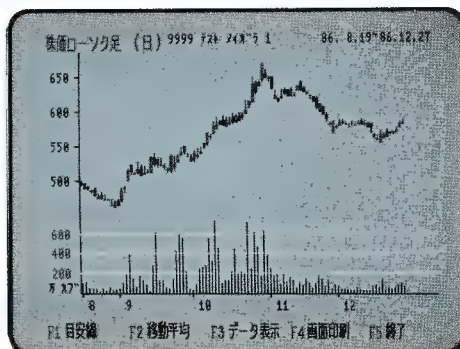
画　面

右の画面（株価チャートメニュー）からスタートします。

操　作

1. 銘柄の選択をやりなおす場合は　1　はい　（⇨27頁に戻る。）
2. 株価ローソク足（日足）を表示する場合は　2　はい
3. 株価ローソク足（週足）を表示する場合は　3　はい
4. サイコロジカルラインを表示する場合は　4　はい
5. 新値三本足を表示する場合は　5　はい
6. 逆ウォッチ曲線（日）を表示する場合は　6　はい
7. 逆ウォッチ曲線（週）を表示する場合は　7　はい
8. 株価比較を行う場合は　8　はい　（⇨34頁）
9. メインメニューに戻る場合は　0　はい

画　面　たとえば、操作 **2** 株価ローソク足（日足）を選んだ場合。

操　作　[2] [はい]

結　果　下の図のようなチャートが表示されます。
前頁で操作 **3** ～ **7** の場合もそれぞれのチャートが表示されます。

※ この後 [ESC] を押すと、前頁の画面に戻るので、同一銘柄の別のチャートを表示することができます。

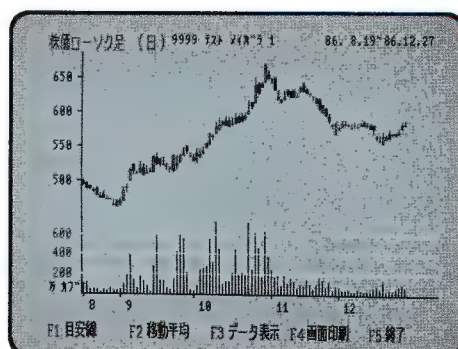
3）株価の目安線の表示

画面に表示されている範囲内の任意の株価で、目安線を表示することができます。

画　面　チャートを表示している画面（ここでは前頁の画面）からスタートします。

例　560円と660円の株価の目安線を表示する場合。

操　作

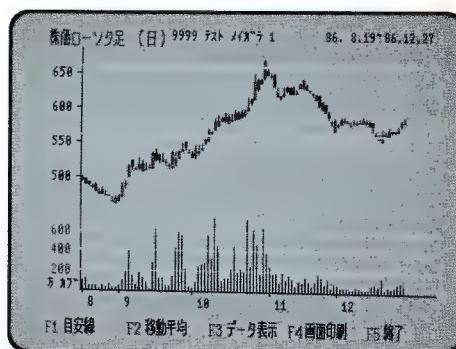
❶ 線を引く項目を選びます。　F1 ：［目安線］

❷ ナンエンノ　セン？＝＝>

560（円）を入力します。　5 6 0 はい

❸ 線を引く項目を選びます。　F1 ：［目安線］

❹ ナンエンノ　セン？＝＝>

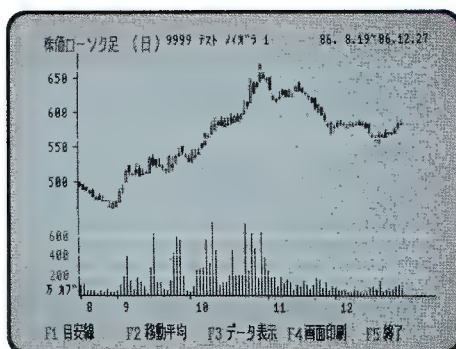
660（円）を入力します。　6 6 0 はい

結　果　560円と660円の株価目安線が表示されます。上の操作 ❶ ❷ の手順を繰り返せば、何本でも目安線を引くことができます。

※ 株価チャートメニューに戻るときは ESC を押す。

4）移動平均線の表示

最大50日（週足のチャートの場合は50週）までの任意の移動平均線を表示することができます。

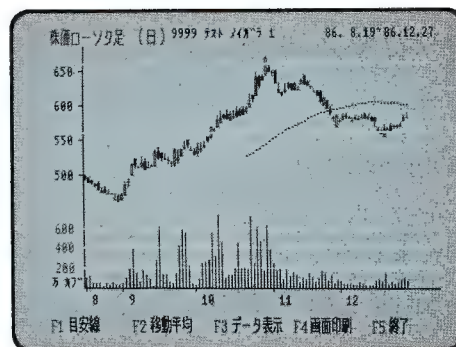
画　面　チャートを表示している画面（ここでは前頁の画面）からスタートします。

例　25日と50日の移動平均線を表示する場合。

操　作

1. 移動平均線の項目を選びます。　F2　：［移動平均］
2. ナンニチノ　イドウ　ヘイキン？（サイダイ50ニチ）＝＝＞＊

   25（日）を入力します。　2　5　はい
3. 移動平均線の項目を選びます。　F2　：［移動平均］
4. ナンニチノ　イドウ　ヘイキン？（サイダイ50ニチ）＝＝＞＊

   50（日）を入力します。　5　0　はい

結　果　1本目の25日移動平均線が白で、2本目の50日移動平均線が黒で表示されます。

※ さらに別の日数（週数）の移動平均線を引くと、3本目が青、4本目が緑、5本目が赤で表示されます。6本目以降はまた、白・黒・青・緑・赤の順に色別に表示されます。

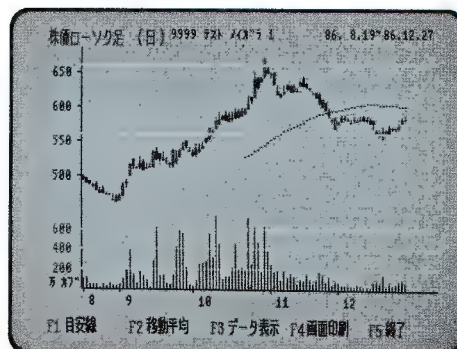
5）データの表示

チャート表示のもとになっている株価データを表示することができます。

1.
株価
チャート

画　面

チャートを表示している画面（ここでは前頁の画面）からスタートします。

操　作

❶ データ表示の項目を選びます。　F3 ：[データ表示]

結　果

最近のデータから表示されます。
さらに、次の頁に移る場合は、F1 ：[次]、前の頁に移る場合は F2 ：[前]、
チャート表示の画面に移る場合は F3 ：[チャート]

9999 ﾃｽﾄ ﾒｲｶﾞﾗ 1　　ﾃﾞｰﾀ ｽｳ = 100

NO.	ﾋﾂﾞｹ	ﾊｼﾞﾒﾈ	ﾀｶﾈ	ﾔｽﾈ	ｵﾜﾘﾈ	ﾃﾞｷﾀﾞｶ
81)	1986.12. 3	583	586	579	581	430
82)	86.12. 4	580	582	578	579	431
83)	86.12. 5	576	580	575	577	221
84)	86.12. 6	580	584	576	581	292
85)	86.12. 8	578	583	578	579	522
86)	86.12. 9	581	584	580	581	437
87)	86.12.10	584	587	579	579	259
88)	86.12.11	581	585	577	581	208
89)	86.12.12	580	582	575	575	246
90)	86.12.15	581	581	567	575	603
91)	86.12.16	561	567	560	564	803
92)	86.12.17	557	563	556	557	442
93)	86.12.18	554	570	553	565	1368
94)	86.12.19	560	565	560	565	245
95)	86.12.22	569	573	562	562	513
96)	86.12.23	568	568	564	566	300
97)	86.12.24	569	569	565	567	528
98)	86.12.25	568	575	567	571	815
99)	86.12.26	576	582	572	582	975
100)	86.12.27	580	587	579	581	650

F1 次　F2 前　F3 チャート　F4 画面印刷

6）ハードコピー(プリントアウト)

チャートが表示されている画面や、データが表示されている画面では、それぞれをプリントすることができます。

画　面

データを表示している画面（ここでは前頁の下の画面）からスタートします。

操　作

1. プリンターが接続されていることを確認し、用紙をセットし、電源をONします。
2. ハードコピーの項目を選びます。　F4 ：［画面印刷］

   ハードコピーを途中で中断する場合は ESC
3. ハードコピーが終了したら画面に

   F1 次　F2 前　F3 チャート　F4 画面印刷

   が表示されるので、次の操作の指示をしてください。

結　果

プリントアウトされた見本

9999 ﾃｽﾄ ﾒｲｶﾞﾗ 1　　　　ﾃﾞｰﾀ ｽｳ = 100

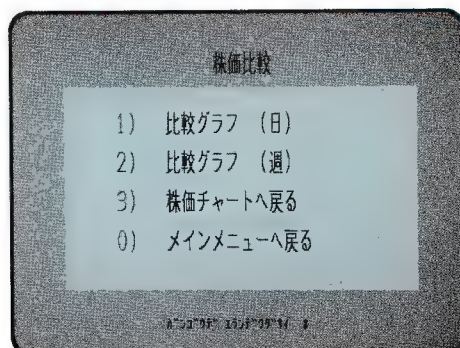
NO.	ﾋﾂﾞｹ	ﾊｼﾞﾒﾈ	ﾀｶﾈ	ﾔｽﾈ	ｵﾜﾘﾈ	ﾃﾞｷﾀﾞｶ
81)	1986.12. 3	583	586	579	581	430
82)	86.12. 4	580	582	578	579	431
83)	86.12. 5	576	580	575	577	221
84)	86.12. 6	580	584	576	581	292
85)	86.12. 8	578	583	578	579	522
86)	86.12. 9	581	584	580	581	437
87)	86.12.10	584	587	579	579	259
88)	86.12.11	581	585	577	581	208
89)	86.12.12	580	582	575	575	246
90)	86.12.15	581	581	567	575	603
91)	86.12.16	561	567	560	564	803
92)	86.12.17	557	563	556	557	442
93)	86.12.18	554	570	553	565	1368
94)	86.12.19	560	565	560	565	245
95)	86.12.22	569	573	562	562	513
96)	86.12.23	568	568	564	566	300
97)	86.12.24	569	569	565	567	528
98)	86.12.25	568	575	567	571	815
99)	86.12.26	576	582	572	582	975
100)	86.12.27	580	587	579	581	650

7）株価比較

最大４銘柄までの指数化グラフ（日または週）を同時に表示させ、比較することができます。

画　面

右の画面からスタートします。

操　作

❶ 日データで比較する場合は	1	はい
❷ 週データで比較する場合は	2	はい
❸ 株価チャートメニューへ戻る場合は	3	はい
❹ メインメニューへ戻る場合は	0	はい

結　果

操作 ❶ または ❷ を行うと右のように銘柄選択の画面になります。
この中から比較する銘柄を最大４個選びます。

例

1）9999 テストメイガラと、
2）9998 ユーザーメイガラを比較する場合。
ここでは比較開始日を1986年9月1日にします。

操作

1 バンゴウデ　エランデクダサイ　No.1＝＊

1）番にします。　[1] [はい]

2 バンゴウデ　エランデクダサイ　No.2＝＊

2）番にします。　[2] [はい]

3 バンゴウデ　エランデクダサイ　No.3＝＊

表示させる必要がない場合はスキップします。[はい]

4 1）　9999　2）　9998　OK？
OK＝＝>はいキー　NO＝＝>いいえキー

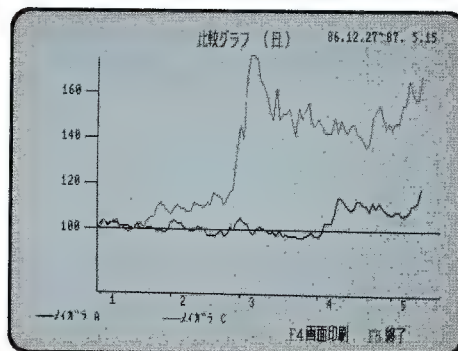
確認後 [はい]

5 ヒカクカイシノ年月日ハ？ ＊年　月　日

86、9、18を入力します。

[8] [6] [はい] [9] [はい] [1] [8] [はい]

結果

右の画面のように、2銘柄の比較グラフが表示されます。（スタートの1986年9月18日を100として指数化表示になります。）
注）100個前のデータの日からスタートします。

※）ハードコピーをとる場合は [F4]：[画面印刷]
ここで指定した銘柄の株価比較の操作を終了する場合は [F5]：[終了]
株価比較のメニューへ戻ります。

表示のため最低必要なデータ数

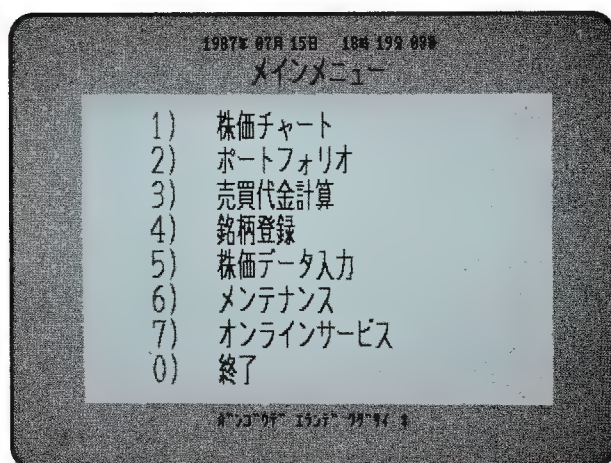
ローソク足（日、週）	：	1
サイコロジカルライン	：	13
新値三本足	：	4
逆ウォッチ曲線（日）	：	31
逆ウォッチ曲線（週）	：	14
株価比較（日、週）	：	2

2. ポートフォリオ

登録して銘柄を組み合わせ（グループにし）てファンドを設定し、売買の記録、保有分析、売買経過表の作成などを行います。

画　面

2）からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

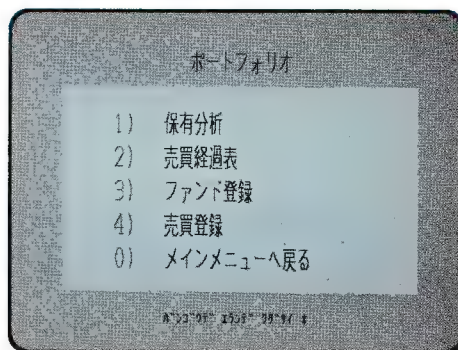
［2］［はい］を押します。

2. ポートフォリオ

ポートフォリオ分析をやってみましょう。

画　面　右の画面（ポートフォリオメニュー）からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1）保有分析の場合は　1　はい　（⇨39頁）

2）売買経過表を表示する場合は　2　はい　（⇨44頁）

3）ファンドを設定、廃止する場合は　3　はい　（⇨46頁）

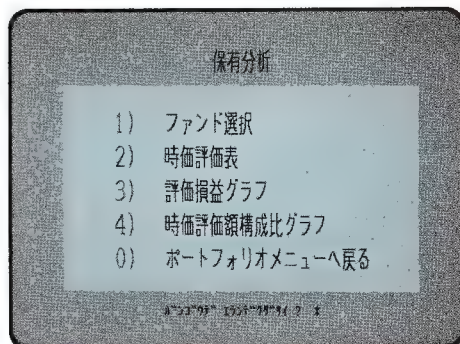
4）売買を登録する場合は　4　はい　（⇨52頁）

5）メインメニューへ戻る場合は　0　はい

1) 保有分析

保有株に関して、時価評価表、評価損益グラフ、時価評価額構成比グラフで分析することができます。3）ファンドの登録（46頁）と 4）売買登録（52頁）の後に操作をしてください。

画　面

右の画面からスタートします。

2.
ポート
フォリオ

操　作

1 保有分析を行うファンドを選択する場合は 1 はい （⇨40頁）

2 時価評価表を表示する場合は 2 はい （⇨41頁）

3 評価損益グラフを表示する場合は 3 はい （⇨42頁）

4 時価評価額構成比グラフを表示する場合は 4 はい （⇨43頁）

5 メインメニューへ戻る場合は 0 はい

保有分析における注意事項

①時価評価を行う場合、時価は株価データの直近（最も新しい）終値を使用しています。チャート表示対象外の銘柄で、ポートフォリオのみ行っている銘柄は時価を手入力します。

②保有分析の時価評価額構成比グラフは、モニター（TV）上では多少楕円形に歪みます。(プリントアウト時には正円になります。)

1)-①保有分析のファンド選択

保有分析するファンドをファンド名称で選択します。

右の画面からスタートします。

1）番のファンド名称「マイファンド」を選択します。

2.
ポート
フォリオ

操　作

1 ナンバンノ　ファンドノ　ホユウブンセキヲ　シマスカ？＊

1）番にします。 [1] [はい]

前頁の画面と同じ保有分析メニューが表示されますが、ここではすでにファンド名の選択がされています。
次の操作は前頁の操作 **2** **3** **4** を参照して行ってください。
[F5] を押せば保有分析メニューに戻ります。

結　果

上の画面状態で、
[F4] ：[ファンド損益］を押すと、右の画面のようにファンドの評価額と損益（金額と百分率）が表示されます。この後は上の操作 **1** から続けてください。

1)-②時価評価表

時価評価表を表示します。

画　面

右の画面のように表示されます。

このファンドを構成している銘柄のコード、保有株数、単価、時価、評価額、および損益（損は－）が一覧表示されます。

> ◎上の例では、NO.1「マイファンド」の時価評価は、
> 9999 テストメイガラの保有株数は 1,000（時価は 581 円）
> 単価が 1,031（円）で評価損益は－450,350 円となります。

ハードコピーをとる場合は F4 ：[画面印刷]

時価評価表の表示を終了する場合は F5 ：[終了]

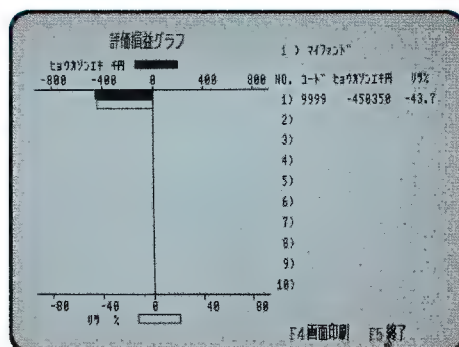
画面は 1）－①の上の画面にもどります。

ファンドの選択がされている状態です。

注）画面印刷を中断する場合は ESC 。

1)-③評価損益グラフ

評価損益グラフを表示します。

画　面　右の画面のように表示されます。

このファンドを構成している銘柄がコード名で表示され、その評価損益が右側に「表」で、左側に「グラフ」で表示されます。
評価損益は金額ベース（グラフは青）と百分率（グラフは赤）で表わされます。

ハードコピーをとる場合は F4 ：[画面印刷]

評価損益グラフの表示を終了する場合は F5 ：[終了]

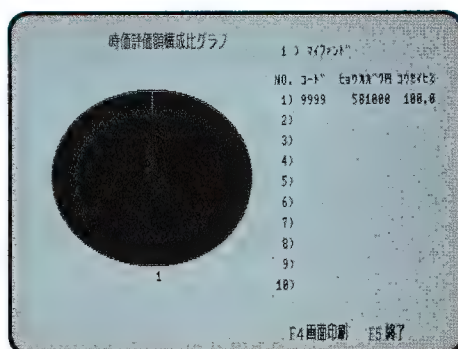
画面は1）－①の上の画面にもどります。

ファンドの選択がされている状態です。

注）画面印刷を中断する場合は ESC 。

1)-④時価評価額構成比グラフ

時価評価額構成比グラフを表示します。

画　面　右の画面のように表示されます。

このファンドを構成している銘柄の時価評価額構成比が百分率で表示されます。
右側に「表」、左側に「円グラフ」で表示されます。

ハードコピーをとる場合は F4 ：[画面印刷]
時価評価額構成比グラフの表示を終了する場合は F5 ：[終了]
画面は1）－①の上の画面にもどります。
ファンドの選択がされている状態です。

2.
ポート
フォリオ

注）画面印刷を中断する場合は ESC 。

2) 売買経過表

売買経過表を表示します。
3）ファンドの登録（46頁）、4）売買登録（52頁）の操作（入力）の後に操作してください。

画　面

右の画面からスタートします。

例

1）番のファンドの名称「マイファンド」の売買経過表を日付の順番に表示する場合。

2.
ポート
フォリオ

操　作

1 ナンバンノ　ファンドノ　ケイカヒョウヲ　ヒョウジシマスカ？

1）番にします。　［1］［はい］

2 ヒョウジ　ジュンハ？　1）ヒヅケジュン　2）コードジュン＊

1）日付順にします。　［1］［はい］

（コード順に表示する場合は　［2］［はい］　）

3 ヒョウジ　カイシビ　87＊年8月3日

運用開始日が表示されるので、この日を表示開始日にします。

［はい］［はい］［はい］

4 ヒョウジ　シュウリョウビ87年8月15日

最終更新日が表示されるので、この日を表示終了日にします。

［はい］［はい］［はい］

（操作 **3** **4** で他の日付にする場合数値で入力してください。）

結　果　売買経過表が表示されました。

※ このファンドの売買経過表の表示を終了する場合は F5 ：[終了]

次頁へ戻る場合は F1 ：[次]

前頁へ移る場合は F2 ：[前]

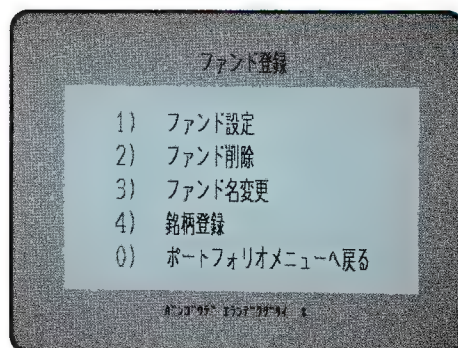
画面のコピーをとるには F4 ：[画面印刷]

注）画面印刷を中断する場合は ESC 。

3) ファンドの登録

ファンドの設定、削除、ファンド名変更、ファンドの構成銘柄登録を行います。

画　面　右の画面からスタートします。

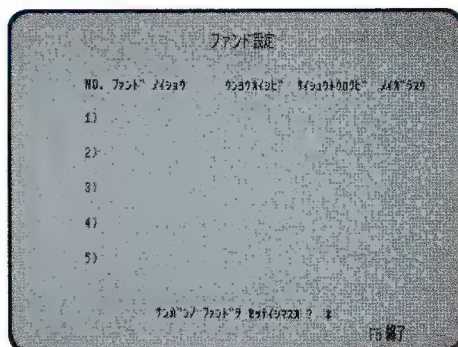
2.
ポート
フォリオ

操　作

1	ファンドを新たに設定する場合は	1 はい	（⇨47頁）
2	すでに設定してあるファンドを削除する場合は	2 はい	（⇨48頁）
3	すでに設定してあるファンドの名称を変更する場合は	3 はい	（⇨49頁）
4	ファンドを構成する銘柄を登録する場合は	4 はい	（⇨50頁）
5	ポートフォリオへ戻る場合は	0 はい	

3)-①ファンドの設定

最大5種類のファンドを設定できます。

画　面　右の画面からスタートします。

例　1）番に「トウサン」、2）番に「カアサン」のファンドを設定する場合。

操　作

1 ナンバンノ　ファンドヲ　セッテイ　シマスカ？＊

1）番にします。　[1] [はい]

2 ナンバンノ　ファンドヲ　セッテイ　シマスカ？＊

画面の下に文字記号が3列に表示されます。

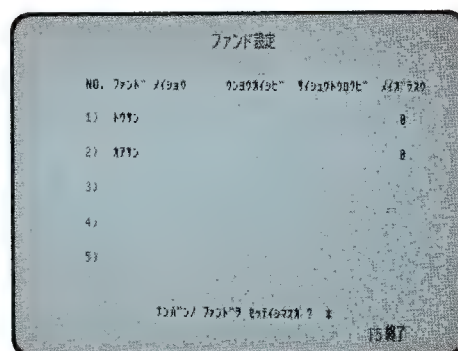
□ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ( ) :
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ゛ ゜

「トウサン」と入力します。[上] [下] [左] [右] で □ を動かし、

[ト] [F3] [ウ] [F3] [サ] [F3] [ン] [F3] 、

確認して [はい] 。

続けて2）番に「カアサン」と入力します。

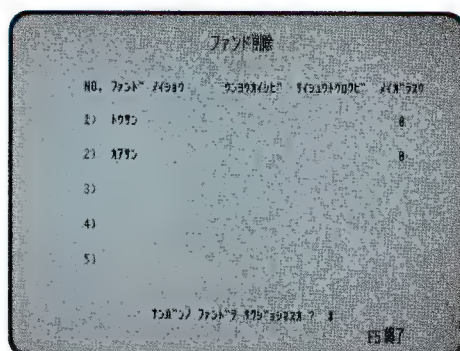
結　果　1）番に「トウサン」
2）番に「カアサン」が設定されました。さらに3)、4)、5）にファンドを設定する場合は、上の操作 **1** **2** の手順を繰り返してください。

※ ファンドの設定を終了する場合は、[F5]：[終了]
3）ファンド登録の画面（46頁）に戻ります。

3)-②ファンドの削除

すでに設定してあるファンドを削除します。

画　面　右の画面からスタートします。

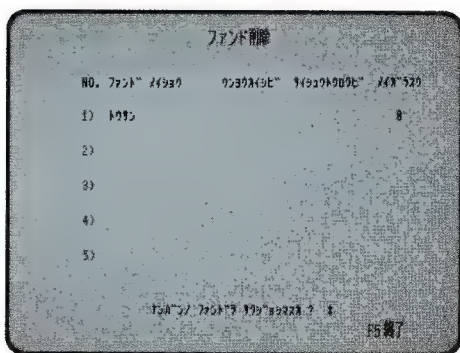
例　2）番の「カアサン」のファンドを削除する場合。（注）

操　作

❶ ナンバンノ　ファンドヲ　サクジョ　シマスカ？ ＊

2）番にします。 [2] [はい]

❷ 2）ファンドヲ　サクジョシマス OK＝＝＞はいキー
NO＝＝＞いいえキー

削除を実行します。 [はい]
（いいえキーを押すと上の画面の状態に戻ります。）

結　果　2）番の「カアサン」のファンドが削除され、画面上の表示も消えます。
続けて削除をする場合は、上の操作 ❶ ❷ の手順を繰り返します。

※ ファンド削除の操作を終了する場合は [F5] ：[終了]
3）ファンド登録の画面（46頁）に戻ります。

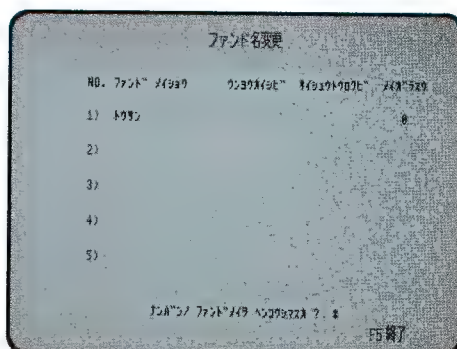
注）ファンドの削除により、そのファンド内各銘柄の売買記録もすべて抹消されます。

3)-③ファンド名の変更

すでに設定してあるファンドの名称を変更します。

画　面　右の画面からスタートします。

例　1）番のファンド名「トウサン」を、「マイファンド」に変更する場合。

操　作

❶ ナンバンノ　ファンドメイヲ　ヘンコウ　シマスカ？＊

1）番にします。　[1] [はい]

❷ ファンドノ　メイショウヲ　イレテクダサイ　＊

画面の下に文字記号が3列に表示されます。

□ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ( ) :
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ゛ ゜

「マイファンド」と入力します。[上] [下] [左] [右] で[　]を動かし、

[マ] [F3] [イ] [F3] [フ] [F3] [ァ] [F3]

[ン] [F3] [ト] [F3] [゛] [F3] と押し、

確認して [はい] 。

結　果　1）番のファンド名「トウサン」が「マイファンド」に変更され、画面に表示されます。
続けてファンド名を変更する場合は、上の操作 ❶ ❷ の手順を繰り返してください。

※ ファンド名の変更を終了する場合は、[F5]：[終了]
3）ファンド登録の画面（46頁）に戻ります。

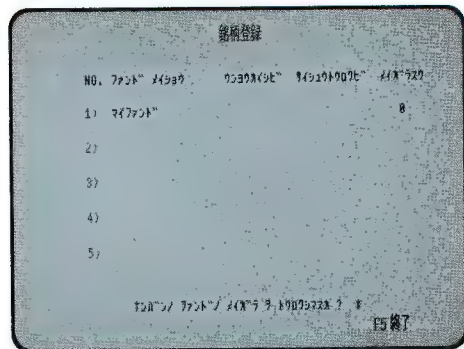
3)-④ファンドの銘柄登録

3）－①で設定したファンドを構成する銘柄を新規登録します。

画　面

右の画面からスタートします。

例

「マイファンド」のファンドに新規に銘柄を登録する場合。

操　作

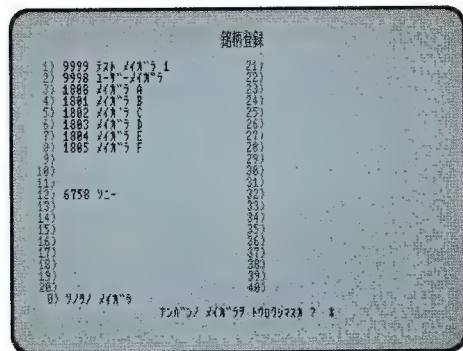
1 ナンバンノ　ファンド　ノ　メイガラ　ヲ　トウロクシマスカ？

1）番にします。 1 はい

2 F1 変更　F2 移動　F3 削除　F4 登録　F5 終了

登録の項目を選びます。 F4 ：［登録］

結　果

右の画面のように銘柄登録してあるものの一覧表が表示されます。
このうちからファンドに組み入れる銘柄を番号で選択していきます。

※ 変更、移動、削除、終了の操作の場合はそれぞれ F1 、F2 、F3 、F5 をして、画面の指示に従ってください。登録の操作とほぼ同様です。

1）9999テストメイガラを移動の操作で他ファンドへ移動の場合は、その銘柄に関する売買データも同時に移動し、移動元のファンドの銘柄と売買データはそのまま残ります。不要の場合削除の操作で銘柄の削除をしてください。

例　1）9999テストメイガラを「マイファンド」に登録する場合。

操　作

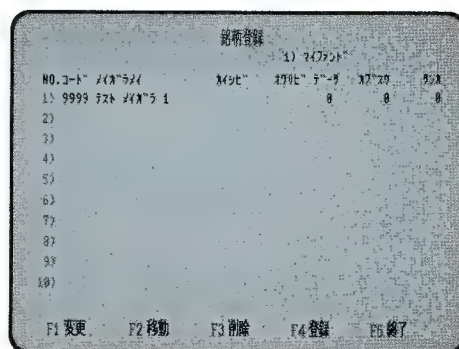
❶ ナンバンノ　メイガヲラ　トウロクシマスカ？

1）番にします。 1 はい

❷ F1 変更　F2 移動　F3 削除　F4 登録　F5 終了

続けて他の銘柄を登録する場合などは前頁の操作 ❷ から同じ手順を繰り返してください。

結　果

右の画面のように、1）マイファンドに9999テストメイガラが登録され、表示されます。

2. ポートフォリオ

※ この銘柄登録の操作を終了する場合は F5 ：[終了]
前頁の画面（ただしメイガラスウの表示が1に変わっている）に戻ります。
他のファンド銘柄登録を続けて行うことができます。
ファンドの銘柄登録の操作を終了する場合は ESC 。
ファンド登録の画面（46頁）に戻ります。

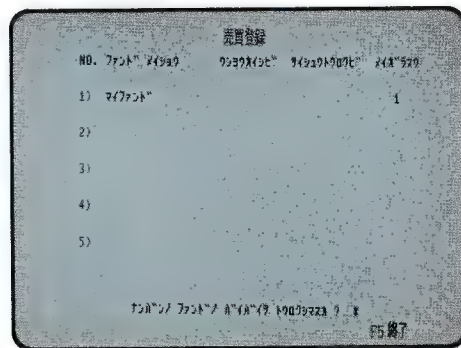
4）売買登録

設定したファンドの売買を記録します。〔本ソフトで扱い可能な年月日の範囲は、1980年1月1日～1999年12月31日に限られます。〕

2.
ポート
フォリオ

画　面

右の画面からスタートします。

操　作

1 ナンバンノ　ファンドノ　バイバイヲ　トウロクシマスカ？ ＊

1）番にします。　1　はい

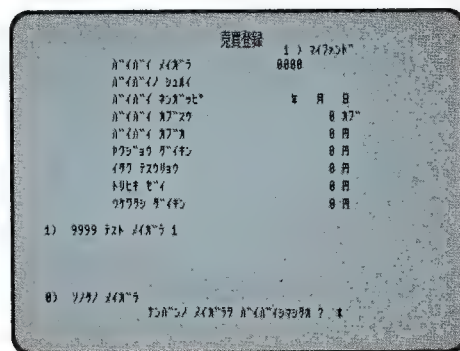
2 F1次　F2前　F4 データ変更　F5終了

データ変更の項目を選びます。　F4 ：［データ変更］

3 F1変更　F3削除　F4登録　F5終了

登録の項目を選びます。　F4 ：［登録］

結　果

右の画面のように
1)「マイファンド」に登録されている銘柄が表示されます。
まずこの銘柄を選び、次に売買を入力していきます。

注）ここで、0）ソノタノメイガラを選ぶと、まだこのファンドに登録されていない銘柄の売買を登録でき、その銘柄はそのままこのファンドに登録されます。

例

1) 9999テストメイガラを1987年8月3日に3,000株を1,020円で買い、同年8月15日に2,000株1,230円で売った場合。

操作

1 ナンバンノ　メイガラヲ　バイバイシマシタカ ？＊

1）番にします。 [1] [はい]

2 1）ウリ　3）カイ　4）ショブン　6）シュトク
バイバイノ　シュルイハ？ ＊

3）カイにします。 [3] [はい]

3 バイバイ　ネンガッピノ　ニュウリョク ＊ 年　月　日

87（年）8（月）3（日）を入力します。

[8] [7] [はい] [8] [はい] [3] [はい]

4 バイバイ　カブスウハ ？＊

3,000（株）を入力します。 [3] [0] [0] [0] [はい]

5 バイバイ　シタ　カブカハ ？＊

1,020（円）を入力します。 [1] [0] [2] [0] [はい]

6 コレデ　マチガイアリマセンカ？ OK＝＝>はいキー
NO＝＝>いいえキー

画面を確認して [はい]

（間違いがあれば、いいえキーを押して入力し直してください。）

7 マダ　トウロク　シマスカ？　OK＝＝＞はいキー　NO＝＝＞いいえキー

続けて入力します。 [はい]

8 (前頁の操作 **2** ～ **6** までと同じ手順で [例] の「売り」のデータを入力してください。)

9 マダ　トウロク　シマスカ？　OK＝＝＞はいキー　NO＝＝＞いいえキー

ここで登録を終了します。
いいえキーを押します。

右のように売買が登録されました。

※ 次頁へ移す場合は [F1]、前頁へ移す場合は [F2]、さらにデータを登録する場合は [F4]、このファンドの売買登録を終了する場合は [F5]。
(52頁の上の画面) に戻ります。ただし運用開始日、最終更新日が表示されています。

注) 処分、取得の場合は55頁参照。

売買登録における注意事項

1.売買種別は4種類存在し、次のような利用を行います。

売
買 ……通常の売買における約定代金、手数料・税、受渡代金を計算します。

処分
取得 ……通常の売買のルールが適用できない場合に株数と受渡代金を直接入力します。手数料・税は0円として扱います。増資や買取り請求があった場合に使用します。

（例）

（i） 銘柄Aの額面50円の株を1,000株持っていて1割有償の権利落ちが発生した場合
取得　100株，50×100＝5,000円

（ii） 銘柄Aの株を1,000株持っていて、1割無償の権利落ちが発生した場合
取得　100株，0円

（iii） 銘柄Aの株100株を買取り請求し、40,000円を受け取った場合
処分　100株，40,000円

2.売買登録時に、同一銘柄、同一日のデータは入力順に処理しますので、下記の優先順位で入力してください。

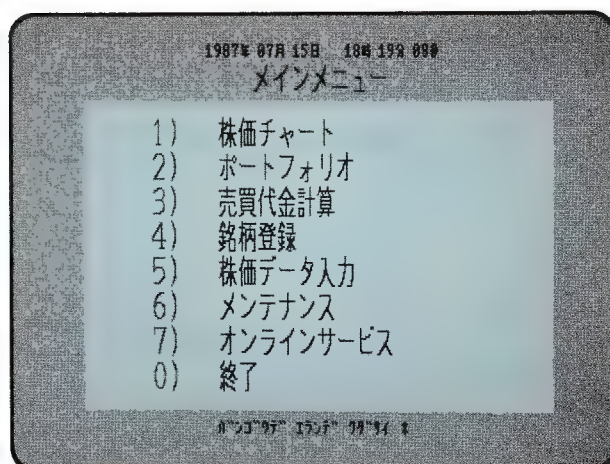
1：買、 2：取得、 3：売、 4：処分

3. 売買代金計算

株価や株数などのデータを入力することにより、受渡代金計算、売買損益計算、損益分岐点計算がスムーズにできます。手数料、取引税などが即座にわかるので効率よい運用が可能になります。

画　面

3）からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

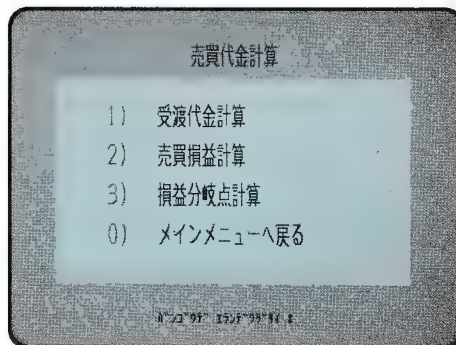
[3] [はい] を押します。

3. 売買代金計算

1）受渡代金計算、 2）売買損益計算 、3）損益分岐点計算をすることができます。株価や株数を入力してみましょう。

画　面　右の画面（売買代金計算メニュー）からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデクダサイ ＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1） 受渡代金計算の場合は	1 はい	（⇨59頁）
2） 売買損益計算の場合は	2 はい	（⇨60頁）
3） 損益分岐点計算の場合は	3 はい	（⇨61頁）
4） メインメニューへ戻る場合は	0 はい	

1) 受渡代金計算

実際の受渡代金がいくらになるかの計算です。

画　面　右の画面に入力していきます。（＊のある場所に入力されます。）

例　株価852円で、株数3,000株を「売り」の場合。

操　作

❶ バイバイクブン ••• 1.ウリを選択します。 1 はい

（3.カイの場合は 3 はい です。）

❷ カブスウ •••••••• 3,000を入力します。 3 0 0 0 はい

この入力が終ると＊は自動的に株数の入力位置に動いています。

❸ カブカ •••••••••• 852を入力します。 8 5 2 はい

結　果　操作の結果は右の画面になります。

委託手数料	28,838円
取引税	14,058円
受取代金	2,513,104円

と計算されました。
（計算日当日の手数料テーブルを使用して計算します。）

3. 売買代金計算

※ 再計算をする場合は F1
　売買代金計算メニューにする場合は F5

2) 売買損益計算

売買に伴う損益の計算です。

画　面　右の画面に入力していきます。（＊のある場所に入力されます。）

例　1987年5月16日に875円で5,000株買い、963円で売った場合。

操　作

1. カブスウ ･････････ 5,000を入力します。 [5] [0] [0] [0] [はい]
2. カイカブカ ･･････ 875を入力します。 [8] [7] [5] [はい]
3. カイネンガッピ ･･･ 87　5　16を入力します。 [8] [7] [はい] [5] [はい] [1] [6] [はい]
4. ウリカブカ ･･････ 963を入力します。 [9] [6] [3] [はい]

結　果　操作の結果は右の画面になります。

委託手数料	97,304円
取引税	26,482円
売買損益	316,214円

と計算されました。

※ 再計算をする場合は [F1]
売買代金計算メニューにする場合は [F5]

3）損益分岐点計算

いくらで売ればもとがとれるかの計算です。

画　面

右の画面に入力していきます。
（＊のある場所に入力されます。）

例

1987年5月16日に株価2,350円で買った2,000株の損益分岐点を計算する場合。

操　作

1. カブスウ ・・・・・・・・・ 2,000を入力します。 [2] [0] [0] [0] [はい]
2. カイカブカ ・・・・・・・ 2,350を入力します。 [2] [3] [5] [0] [はい]
3. カイネンガッピ ・・・ 87　5　16を入力します。 [8] [7] [はい] [5] [はい] [1] [6] [はい]

結　果

操作の結果は右の画面になります。
損益分岐点は2,414円と計算されました。

※ 再計算をする場合は [F1]
売買代金計算メニューにする場合は [F5]

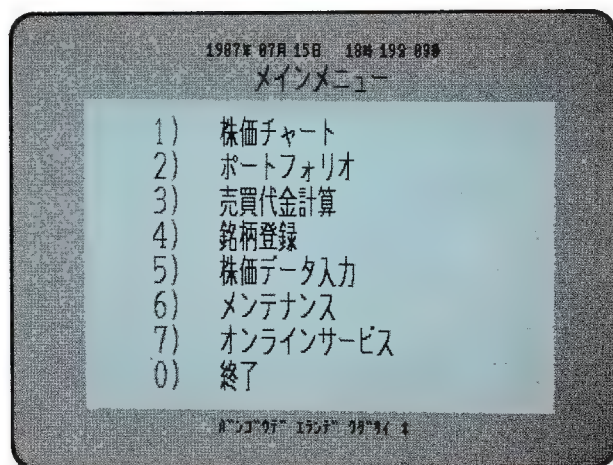
3. 売買代金計算

4. 銘柄登録

ここであなたが管理する銘柄を登録します。
データの入力、チャートの表示などは、登録した銘柄しかできません。あなたが扱う銘柄を登録してください。

画　面

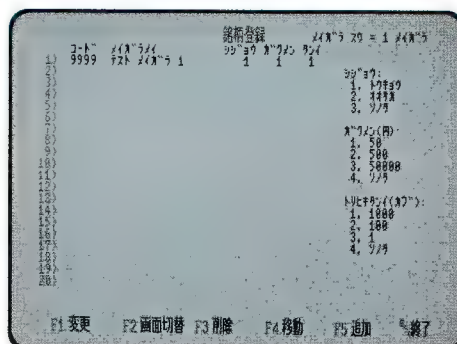
4) からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

[4] [はい] を押します。

4. 銘柄登録

銘柄を登録しましょう。

画　面　右の画面（銘柄登録）からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

F1 変更　F2 画面切替　F3 削除　F4 移動　F5 追加　ESC 終了

操　作　選択したい項目を決めます。

1. すでに登録した銘柄の内容を変更する場合は　F1　（⇨67頁）
2. 次頁（前頁）に画面を切り替える場合は　F2
3. すでに登録した銘柄を削除する場合は　F3　（⇨69頁）
4. すでに登録した銘柄の順序を移動する場合は　F4　（⇨68頁）
5. 新しく銘柄を追加登録する場合は　F5　（⇨65頁）

登録を終了する時は ESC を押し、確認後 はい 。メインメニューへ戻ります。

1) 新規(追加)の登録

1)〜40)の番号のどこかに銘柄を新規(追加)登録します。

画　面

右の画面に入力していきます。(＊のある場所に表示されます。)

例

21)番にサンプル産業(コード:1000、市場:大阪、額面:500円、取引単位:100株)を登録する場合。

操　作

《まず F5 を押します。》

1 ナンバンニ　ツイカ　シマスカ?　＊

21)番にします。 [2] [1] [はい]

2 データヲ　ニュウリョクシ　はいキー　はいキー　ノミ:カーソルノ　イドウ

コード:1000を入力します。[1] [0] [0] [0] [はい]

3 メイガラメイ:サンプルサンギョウを入力します。

画面の下に文字記号が3列に表示されます。

```
□ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ( ) :
 ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
 マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ゛ ゜
```

[上] [下] [左] [右] で □ を動かし、

[サ] [F3] [ン] [F3] [フ] [F3] [゜] [F3]
[ル] [F3] [サ] [F3] [ン] [F3] [キ] [F3]
[゛] [F3] [ョ] [F3] [ウ] [F3] と押し、

確認して [はい] 。

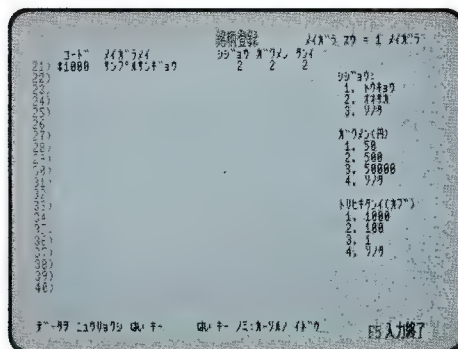
4 シジョウ:2(オオサカ)を入力します。 [2] [はい]

5 ガクメン:2(500円)を入力します。 [2] [はい]

6 タンイ　:2(100株)を入力します。 [2] [はい]

7 この銘柄の登録を終了します。 [F5] [入力終了]

4.
銘柄登録

結　果　右の画面のように、21）番に登録され、表示されます。

4.
銘柄登録

※　続けて新規（追加）登録する場合は F5 を押し、この頁の操作を繰り返してください。

新規（追加）登録の操作を終了する場合は ESC を押し、確認後 はい （メインメニューへ戻ります）を押します。

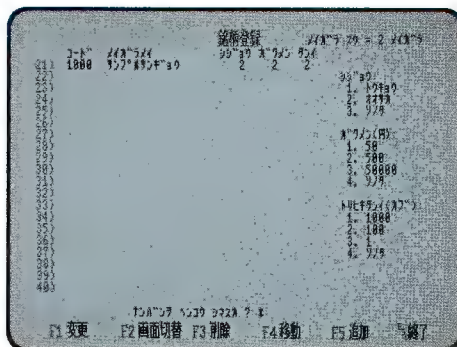
2) 銘柄の変更

すでに登録してある銘柄の内容を変更します。

画 面

右の画面に入力していきます。
(＊のある場所が修正されます)

例

21）番のサンプル産業のコードを1000から1001に、取引単位を2（100株）から3（1株）に変更してみます。

操 作

《 F1 を押した状態から》

1 ナンバンヲ ヘンコウ シマスカ？

21番にします。 2 1 はい

2 データヲ ニュウリョクシ はいキー はいキー ノミ：カーソルノ イドウ

コード：1001を入力します。 1 0 0 1 はい

3 メイガラメイ、シジョウ、ガクメンは変更しないので、カーソルをスキップします。 はい はい はい

4 タンイ：3（1株）を入力します。 3 はい

5 この銘柄の変更を終了します。 F5 [入力終了]

結 果

右の画面のように、21）番が変更されます。

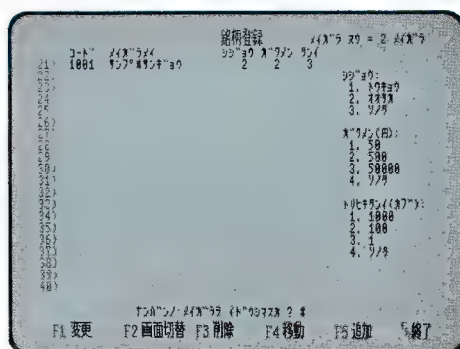
※ 続けて登録内容を変更する場合は、 F1 を押し、この頁の操作手順を繰り返します。
変更の操作を終了する場合は、 ESC を押し、確認後 はい
(メインメニューへ戻ります)。

4. 銘柄登録

3）銘柄の移動

すでに登録してある銘柄の番号を変更します。

画　面　右の画面からスタートします。

例　21）番のサンプル産業を 18）番へ移動する場合。

操　作　《 F4 を押した状態から》

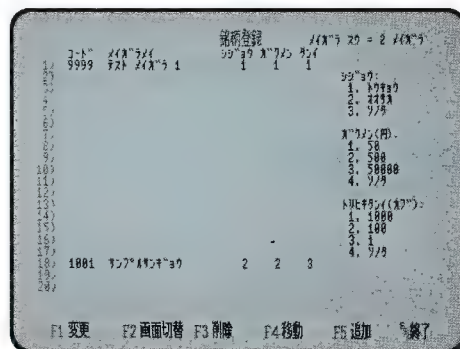
1 ナンバンノ　メイガラヲ　イドウシマスカ？

21）番にします。　2　1　はい

2 ナンバンノ　トコロヘ　イドウシマスカ？

18）番にします。　1　8　はい

未登録の番号であれば、何番のところへでも入ります。

結　果　21）番のサンプル産業が 18）番へ移動しました。

※ 続けて移動する場合は、 F4 を押し、この頁の操作手順を繰り返してください。
移動の操作を終了する場合は、 ESC を押し、確認後 はい
（メインメニューへ戻ります）。

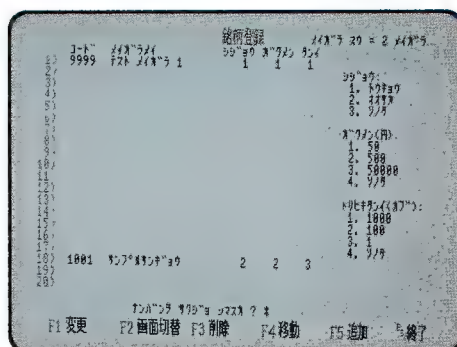
4）銘柄の削除

すでに登録してある銘柄でいらないものを消します。
【削除した銘柄の日データ・週データはすべて消えます。】

画　面

右の画面からスタートします。

例

18）番のサンプル産業を削除する場合。

操　作

《 F3 を押した状態から》

1 ナンバンヲ　サクジョ　シマスカ？　＊

18）番にします。　1　8　はい

2 1001 サンプルサンギョウ　サクジョ OK？
OK＝＝＞はいキー　NO＝＝＞いいえキー

削除する場合　はい

（削除をやめる場合　いいえ）

結　果

18）番のサンプル産業が右の画面のように削除されます。

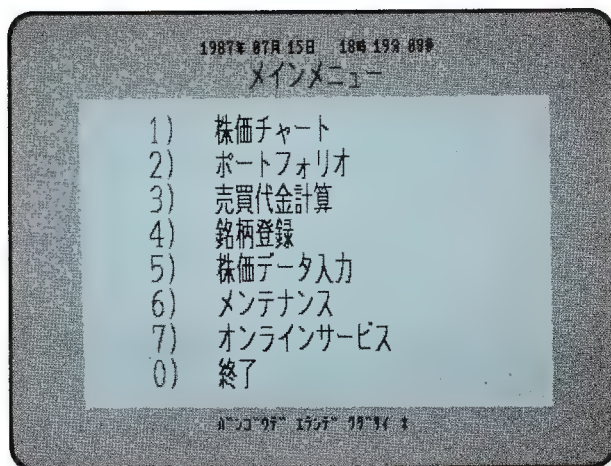
※ 続けて削除する場合は、 F3 を押し、この頁の操作手順を繰り返してください。
削除の操作を終了する場合は、 ESC を押し、確認後 はい
（メインメニューへ戻ります）。

5. 株価データ入力

登録ずみの銘柄に、株価データを入力します。
株価（始値、高値、安値、終値）、出来高を日データまたは週データとして入力できます。

画　面

5）からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

［5］［はい］を押します。

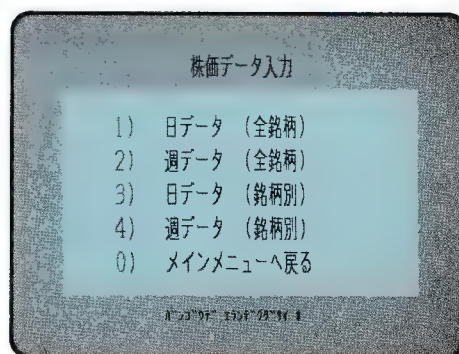
5.
株価データ
入力

5. 株価データ入力

株価のデータを入力しましょう。登録してある銘柄全部に入力することもできますし、銘柄別に入力することもできます。

画　面　右の画面からスタートします。
（＊ に入力されます。）

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデクダサイ　＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1）日データ（全銘柄）の場合は	1 はい	（⇨73頁）
2）週データ（全銘柄）の場合は	2 はい	（⇨73頁）
3）日データ（銘柄別）の場合は	3 はい	（⇨75頁）
4）週データ（銘柄別）の場合は	4 はい	（⇨75頁）

（注　意）

①出来高の単位は千株です。 例）52,800株の場合は52.8と入力します。

②「出来ず」の場合は日付のみを入力します。
このソフトでは「出来ず」の場合は終値に、前日の終値を自動的に書き込みます。（終値以外は0です。）

1) 登録全銘柄の日(週)データ入力

株価の日（週）データを入力します。画面は日データで説明してありますが、週データの場合は「ヒ」を「シュウ」読み変えてください。

画　面

右の画面からスタートします。（＊に入力されます。）

例

まず入力対象の日付（週データの場合は、通常その週の最終営業日）を入力します。画面の例のように1987年8月1日の場合。

操　作

❶ ネンガッピ　ノ　ニュウリョク　＊年　月　日

87（年）を入力します。　[8] [7] [はい]

❷ 8（月）を入力します。　[8] [はい]

❸ 1（日）を入力します。　[1] [はい]

結　果

右の画面のように登録されている全銘柄の一覧表が表示されます。
（登録のしかたは、4.銘柄登録参照）

例

9998ユーザーメイガラに始値3700円、高値3800円、安値3650円、終値3750円、出来高45,200株の場合。

操　作

1 ＊を入力位置（ここでは9998ユーザメイガラのハジメネ）に 左 上 下 右 で移動します。

2 ハジメネ：3700を入力します。　3 7 0 0 はい

3 タカネ：3800を入力します。　3 8 0 0 はい

4 ヤスネ：3650を入力します。　3 6 5 0 はい

5 オワリネ：3750を入力します。　3 7 5 0 はい

6 デキダカ：45.2を入力します。　4 5 ・ 2 はい

これで9998ユーザーメイガラの株価データは入力されました。

- 「気配値」の場合には終値のみ入力します。
- 「出きず」の場合には入力不要です。
- ＊（カーソル）を移動させるには 左 上 下 右 キーを使います。
- 株価をキャンセルする場合には F1 を押すとデータが1行消えます。

5.
株価データ
入力

結　果

右の画面のようにデータが入力されました。

入力を終了する場合 F5 を押し、確認後 はい （株価データ入力メニューに戻ります。）

注）入力したデータに矛盾（終値が安値より安いなど）があると次の表示が出るので、赤色になった銘柄のデータを修正してください。

アカ　ノ　メイガラニ　マチガイガ　アリマス。データ　ヲ　シュウセイ　シテクダサイ。

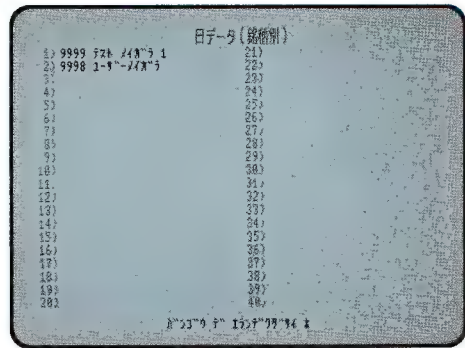
左 上 下 右 で＊を動かして、 F1 で間違った行を消して、正しい数字を入力し直してください。

2) 銘柄別の日(週)データ入力

任意の銘柄の日（週）データを、ある一定期間まとめて入力します。

画　面　右の画面（銘柄の選択）からスタートします。

例　2) 9998ユーザーメイガラの株価データを1987年8月1日から、順次入力する場合。

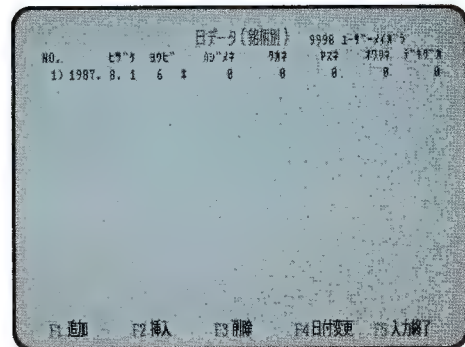
操　作

1　バンゴウ　デ　エランデクダサイ　＊

2）番を選びます。　[2] [はい]

すでにデータが入力されている場合は次頁の **4** の操作に移ります。

2　1バンノ　ネンガッピノ　ニュウリョク　＊年　月　日

87、8、1を入力します。[8] [7] [はい] [8] [はい] [1] [はい]

結　果　右の画面のように1）番に1987.8.1、曜日が6〔下記の注）参照〕と表示され、カーソル＊がハジメネの所に入力待ちの状態になります。

5.
株価データ入力

注）曜日は自動的に計算され、次のように表示されます。

月曜日＝1　火曜日＝2　水曜日＝3
木曜日＝4　金曜日＝5　土曜日＝6

操　作

3 始値 3700 円、高値 3800 円、安値 3650 円、終値 3750 円、出来高 45,200 株の場合

[3] [7] [0] [0] [はい] [3] [8] [0] [0] [はい]

[3] [6] [5] [0] [はい] [3] [7] [5] [0] [はい]

[4] [5] [・] [2] [はい]

続けて 2）番 1987 年 8 月 3 日以降のデータを入力します。

4 追加入力をします。[F1] ：[追加]

5 2バン　ノ　ネンガッピ　ニュウリョク　＊年　　月　　日

87、8、3 を入力します。[8] [7] [はい] [8] [はい] [8] [はい]

6 操作 **3** と同様の手順で株価を入力します。

7 操作 **4** ～ **6** の手順を繰り返して、順次データを入力します。

結　果

6）番まで株価を入力した状態が右の画面です。

日データ（銘柄別）　9998 ユーザーメイガラ

NO.	ヒヅケ	ヨウビ	ハジメネ	タカネ	ヤスネ	オワリネ	デキダカ
1)	1987. 8. 1	6	3700	3800	3650	3750	45.2
2)	87. 8. 3	1	3750	3750	3720	3730	39.7
3)	87. 8. 4	2	3740	3790	3720	3740	38.5
4)	87. 8. 5	3	3750	3830	3740	3760	41.0
5)	87. 8. 6	4	3750	3860	3750	3790	42.0
6)	87. 8. 7	5	3780	3790	3710	3770*	39.4

F1 追加　F2 挿入　F3 削除　F4 日付変更　F5 入力終了

※ 入力を終了する場合、[F5] を押し、確認後 [はい]
〈データがセーブされ、株価データ入力メニュー（72 頁）に戻ります。〉

5. 株価データ入力

3）入力修正（削除、挿入、日付変更）

入力の途中や入力後に株価データの修正（削除、挿入、日付変更）をすることができます。

画　面

右の画面は入力途中（前頁の結果）の状態です。

例

4）番の8月5日のデータを削除する場合。（修正したいデータが画面に表示されていない場合は [上][左][右][下] で画面を切り替えデータを表示してください。）

操　作

1. 削除の項目を選択します。 [F3] ：[削除]
2. ナンバンヲ　サクジョシマスカ？　＊

   4）番にします。 [4] [はい]

結　果

右のように8月5日のデータが削除され、以降のデータが繰り上がります。
4）番には8月6日のデータが表示されています。

5. 株価データ入力

例　4）番の日付を8月6日から8月5日に変更し、4）番と5）番の間に8月6日の新たなデータを挿入する場合。

操作

1 日付の変更の項目を選択します。 [F4] ：[日付変更]

2 ナンバンノ　ヒヅケヲ　ヘンコウ　シマスカ？　＊

4）番にします。 [4] [はい]

3 4バン　ノ　ネンガッピ　ニュウリョク　＊年　月　日

87、8、5を入力します。[8] [7] [はい] [8] [はい] [5] [はい]

4 挿入の項目を選択します。 [F2] ：[挿入]

5 ナンバンニ　ソウニュウ　シマスカ？　＊

5）番にします。 [5] [はい]

6 5バン　ノ　ネンガッピ　ニュウリョク　＊年　月　日

87、8、6を入力します。[8] [7] [はい] [8] [はい] [6] [はい]

5.
株価データ
入力

結果

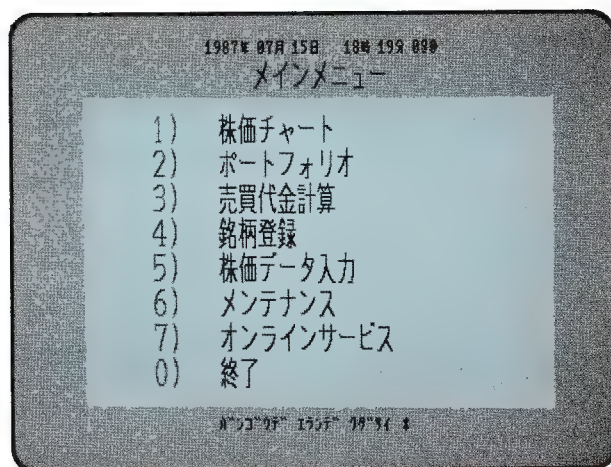
右の画面のように5）番が8月6日のデータ入力待ちの状態になります。この後株価データを入力してください。（入力は74頁参照）

6. メンテナンス

メンテナンスには、データ印刷をしたり、週データ自動計算や権利落ち情報の登録、手数料テーブル登録、さらにディスクをコピーしたりという便利機能が充実しています。
効果的に使って「株式管理」をより有効にお使いください。

画　面

6）からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

[6] [はい] を押します。

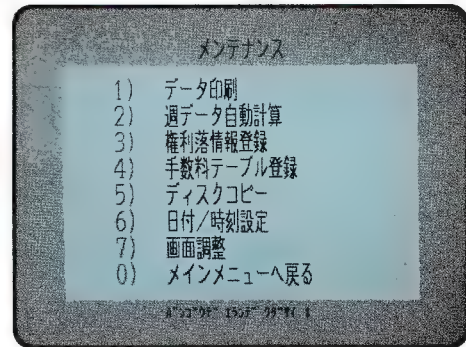
6. メンテナンス

6. メンテナンス

次の機能があります。
1）データ印刷　2）週データ自動計算　3）権利落情報登録　4）手数料テーブル登録　5）ディスクコピー
6）日付／時刻設定　7）画面調整

画　面　右の画面（メンテナンスメニュー）からスタートします。

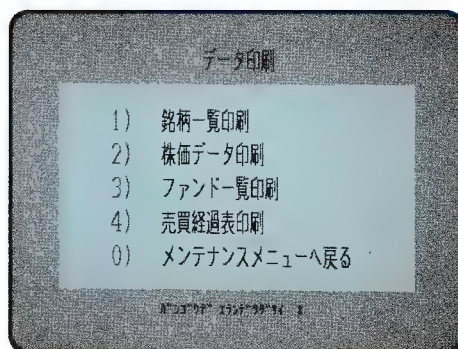
ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1）データ印刷をする場合は	1 はい	(⇨81頁)
2）週データの自動計算の場合は	2 はい	(⇨83頁)
3）権利落ち情報を登録する場合は	3 はい	(⇨84頁)
4）売買委託手数料テーブルを登録する場合は	4 はい	(⇨88頁)
5）システムディスク、データディスクをコピーする場合は	5 はい	(⇨91頁)
6）コンピューター内蔵のタイマーを調整する場合は	6 はい	(⇨98頁)
7）モニター（TV）の画面表示位置を調整する場合は	7 はい	(⇨99頁)
8）メインメニューへ戻る場合は	0 はい	

1) データ印刷

次のデータを印刷することができます。(プリンターが必要です。)
①銘柄一覧　②株価データ　③ファンド一覧　④売買経過

画　面　右の画面からスタートします。

操　作

1 銘柄一覧を印刷する場合は　[1] [はい]

プリンターノ　ヨウイガデキタラ　はいキーヲ　オシテクダサイ

プリンターの電源をONにし、用紙をセットして
(銘柄一覧がプリントアウトされます。) [はい]

2 株価データを印刷する場合は　[2] [はい]　(⇨次頁)

3 ファンド一覧を印刷する場合は
(以降は操作 **1** と同様)　[3] [はい]

4 売買経過を印刷する場合は
〈次頁の注)参照〉　[4] [はい]

5 メンテナンスメニューへ戻る場合は　[0] [はい]

印刷を途中で中断したい場合は、[CONTROL] を押しながら
[STOP] を押してください。

6.
メンテ
ナンス

例　株価データを印刷する場合。

操　作

1 バンゴウデ　エランデクダサイ ＊

銘柄を番号で選んで入力し はい

2 データノ　センタク 1）ヒデータ 2）シュウデータ ＊

日データの場合は 1 はい　週データの場合は 2 はい

3 インサツ　カイシビ　85＊年 11月 28日

印刷開始日を数値で入力

4 インサツ　シュウリョウビ　86＊年 12月22日

印刷終了日を数値で入力

確認後 はい

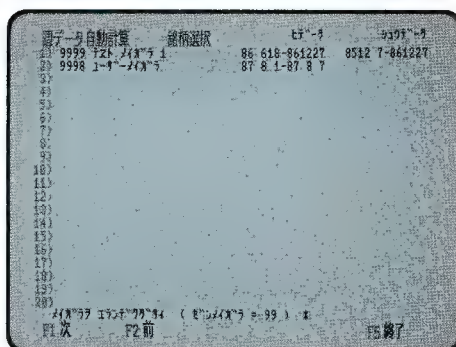
注）売買経過印刷の場合は、ファンド、銘柄、開始日、終了日を入力します。

2) 週データ自動計算

日データから週データを計算します。複数銘柄がある場合、全銘柄を指定すると時間がかかります。

画　面　右の画面（銘柄選択）からスタートします。

例　1) 9999テストメイガラ1の1986年10月6日からの週データを自動計算する場合。

操　作

❶ メイガラヲ　エランデ　クダサイ（ゼンメイガラ＝99）＊

1）番にします。［1］［はい］

（全銘柄の週データを自動計算する場合は［9］［9］［はい］）

❷ 9999 テストメイガラ
ケイサン　カイシビヲ　シテイシテクダサイ＊　年　月　日

86、10、6を入力します。

［8］［6］［はい］［1］［0］［はい］［6］［はい］

（ほかにも計算する銘柄がある場合は操作 ❶ ❷ の手順を繰り返します。）

❸ ここでは終了します。［F5］：[終了]
（メンテナンスメニューへ戻ります。）

6. メンテナンス

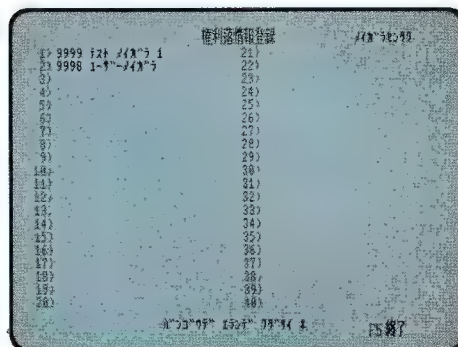
※ 次の銘柄選択画面に戻したい場合は［F1］：[次]
前の銘柄選択画面に戻したい場合は［F2］：[前]

3）権利落ち情報登録

権利落ちの情報を登録します。
ここで登録したデータに従って、権利落ちのマークがローソク足のチャートに■（白いぬりつぶし）で表示されます。週の途中に権利落ちがある場合は、その週の週データのチャートは２本表示されます。

画　面　右の画面（銘柄選択）からスタートします。

例　1）テストメイガラ１の1987年3月27日に1割（10%）無償増資による権利落ちが発生した場合の登録。

操　作

1　バンゴウデ　エランデクダサイ　＊

1）番にします。［1］［はい］

2　ケンリオチノヒヲ　イレテクダサイ　＊　　年　　月　　日

87、3、27を入力します。

［8］［7］［はい］［3］［はい］［2］［7］［はい］

操　作

3

1.ユウショウ　2.ムショウ　3.ゲンシ　4.カブハイ
5.チュウカン　6.ブンカツ　7.ヘイゴウ　8.クミアワセ
シュベツヲ　エランデクダサイ　＊

2.無償を選びます。 2 はい

有償増資の場合は	1	はい
減資の場合は	3	はい
株式配当の場合は	4	はい
中間発行の場合は	5	はい
株式分割の場合は	6	はい
株式併合の場合は	7	はい
組み合わせの場合は	8	はい

これらの操作は、ここでの無償増資の場合とほぼ同じなので、画面のガイドメッセージに従って操作してください。
注）8.クミアワセの場合は、組み合わせの種別を選んだ後に
0オワリ 0 はい と操作をし、続けて増資の割合や発行価格などを画面の指示に従って入力します。

権利落ち情報に関する注意

（株価データサービスを受けていない方のみ必要）

権利落ち情報は下記の７種類の入力が可能です。
①有償　②無償　③株式配当　④中間発行
（①～④はそれぞれ１個づつ、最大４個までの重複を許しています。）
⑤減資　⑥株式分割　⑦株式併合　（⑤～⑦は重複を許していません。）
なお、権利落ち情報の入力後、該当銘柄の週データ自動計算を行うと、日データの存在する週の週データ及び権利落ち後週データが自動計算できます。

操作

4 ムショウノ　リツヲ　イレテクダサイ（%）＊

10（%）を入力します。[1] [0] [はい]

5 ケンリオチハ　シュウノ0：アタマ1：ナカ0　＊

3月27日は週半ばなので1：ナカを選びます。[1] [はい]
（週始めの場合は [0] [はい] 。この場合は操作**7**へ移ります。）

6 ケンリオチゴ　シュウカブカハジメネ（エン）＊

権利落ち後のその週の株価（始値、高値、安値、終値、出来高）を順次数値で入力します。

例

560（円）なら　[5] [6] [0] [はい]

結果

始値560円、高値593円、安値542円、終値556円、出来高263（千株）と入力した場合、右の画面になります。

7 データヲ　カクニンシテクダサイ　OK＝＝＞はいキー
NO＝＝＞いいえキー

データを確認し [はい]
（修正したい場合は、いいえキーを押し、入力し直してください。）

6.
メンテナンス

操 作　（前頁の画面で）

1 画面を次の頁に切り替える場合は F2 ：[画面切替]
（その後必要に応じて操作 **2** ～ **5** を行います。）

2 入力したデータ（画面に表示）を登録し、続けて権利落ち情報を入力する場合は F4 ：[登録]
（78頁の操作 **2** に戻ります。）

3 登録済のデータや入力したデータを修正する場合は
F1 ：[変更]
（入力をし直してください。）

4 登録済のデータや入力したデータを削除する場合は
F3 ：[削除]
（削除するデータを番号で指定します。）

5 この銘柄の権利落ち情報登録の操作を終了する場合は
F5 ：[終了]

（銘柄選択の画面（83頁）に戻ります。他の銘柄を選択し、続けて権利落ち情報の登録をすることができます。
権利落ち情報の登録の操作を終了する場合は F5 ：[終了]
（メンテナンスメニューへ戻ります。））

6. メンテナンス

4）手数料テーブル登録

証券会社の売買委託手数料または有価証券取引税の率に変更があった場合、ここで手数料テーブルの登録の操作を行い、実状に合うように調整します。
手数料テーブルは1〜6まで6種類適用期間を区切って設定できます。売買手数料計算の基礎データとなるので、変更の場合は間違いのないように入力してください。

画　面

右の画面＜直近の手数料テーブル（テーブル2）が表示＞からスタートします。

操　作

登録するテーブルと登録の仕方を選びます。

F1 次　F2 前　F3 削除　F4 変更　F5 登録　ESC 終了

1. 次のテーブルへ移る場合は　F1　：［次］
2. 前のテーブルへ移る場合は　F2　：［前］
3. テーブルを削除する場合は　F3　：［削除］
   （この後テーブル番号を入力して削除します。）
4. 表示のテーブルを一部分変更する場合は　F4　：［変更］
5. 新たにテーブルを追加登録する場合は　F5　：［登録］
6. 手数料テーブル登録の操作を終了する場合は　ESC　：［終了］

結　果

たとえば操作 5 を行うと右の画面（テーブル3：入力待ち）になります。
（1987年3月現在の手数料テーブルが表示されます。）

6.
メンテナンス

前頁下の画面から操作を続けます。

例

テーブル3に右の料率表を入力する場合。

ユウコウカイシ　ネンガッピ　87年　7月 7日
ユウコウシュウリョウ　ネンガッピ　99年 12 月　31 日
バイキャクジ　ユウカショウケントリヒキゼイ（%）:　0.50
シュトクジ　ユウカショウケントリヒキゼイ（%）:　0.00

	ヤクジョウダイキン（エン）	テスウリョウリツ（%）	コテイヒ
1)	0 〃	0.00	3,000
2)	300,000 〃	1.25	1,000
3)	2,000,000 〃	1.00	2,500
4)	10,000,000 〃	0.70	10,000
5)	500,000,000 〃	0.50	500,000
6)	1,000,000,000 〃	0.30	1,000,000

操作

1 ユウコウ　カイシ　ネンガッピ　87＊年　○月○日

（ここには操作日が表示されます。）

有効開始年月日1987年7月7日を入力します。

[8] [7] [はい] [7] [はい] [7] [はい]

2 バイキャクジ　ユウカショウケントリヒキゼイ（%）: 0.55＊

売却時有価証券取引税 0.5 を入力します。 [0] [.] [5] [はい]

3 シュトクジ　ユウカショウケントリヒキゼイ（%）: 0.00＊

0なのでそのままスキップ [はい]

4 1バンノ　ヤクジョウダイキン（エン）0＊

0なのでそのままスキップ [はい]

5 1バンノ　テスウリョウリツ（%）0＊

0なのでそのままスキップ [はい]

6 1バンノ　コテイヒ 2,500＊

1番の固定費 3,000（円）を入力します。 [3] [0] [0] [0] [はい]

操　作

7 2バンノ　ヤクジョウ　ダイキン（エン）0＊

2）番の約定代金300,000（円）を入力します。

[3] [0] [0] [0] [0] [0] [はい]

8 2バンノ　テスウリョウリツ（％）1.25＊

この表示通りなのでそのままスキップ [はい]

9 2バンノ　コテイヒ0＊

2）番の固定費1,000（円）を入力します。[1] [0] [0] [0] [はい]

（このようにして最後まで入力します。）

区分数が11区分より少ない場合（たとえば6区分）は

7バンノ　ヤクジョウ　ダイキン（エン）30,000,000＊

と表示されたところで [0] [はい] と入力し操作 **10** に移ります。

10 このテーブルを登録します。 [F4] :「登録」

11 手数料テーブル変更の操作を終了します。[ESC]:［終了］
確認後 [はい] （メンテナンスメニューへ戻る。）

6.
メンテ
ナンス

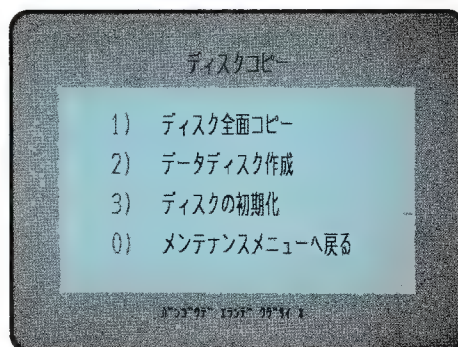
結　果

操作 **10** の後の画面は右のようになります。

5) ディスクのコピー

株式管理のシステムディスクのデータやシステムディスク以外に、株式管理で扱う株価データや売買データを記録するためのデータディスクをバックアップ（予備）のためにコピーすることができます。買ってきた新しいディスクにコピーする場合や、古いディスクを全て書き直してコピーする場合は、必ず最初に5）－③のディスクの初期化を行ってください。

画　面

右の画面（ディスクコピーメニュー）からスタートします。

操　作

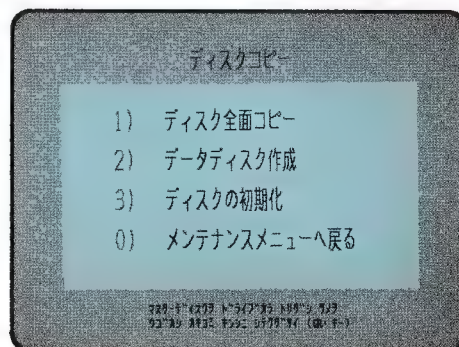
バンゴウデ　エランデクダサイ　＊

1. ディスクを全面的にコピーする場合は　［1］［はい］　（⇨92頁）
2. データディスクを作成する場合は　［2］［はい］　（⇨95頁）
3. ディスクの初期化（イニシャライズ）をする場合は　［3］［はい］　（⇨96頁）
4. メンテナンスメニューへ戻る場合は　［0］［はい］

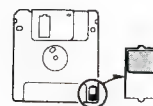
5)-①ディスクの全面コピー

株式管理のシステムディスクのデータまたはデータディスクを全面的にコピーすることができます。コピー先のディスクは初期化（96頁参照）したものを用意してください。

画　面

右の画面（ディスクコピーメニューで 1 はい の後、画面下に右のガイドメッセージが出た状態）からスタートします。

操　作

1 マスターディスク（ここではコピー元のディスクのことです）をコンピュータのドライブから抜き、ディスクの裏側の右下の正方形のツメを下側に動かしてください。（正方形の窓が開いた状態になり、ディスクへの書込みが防止されます。）

2 上のディスクを再びドライブに入れ はい

3 ディスク　ドライブノ　カズハ（1／2）？

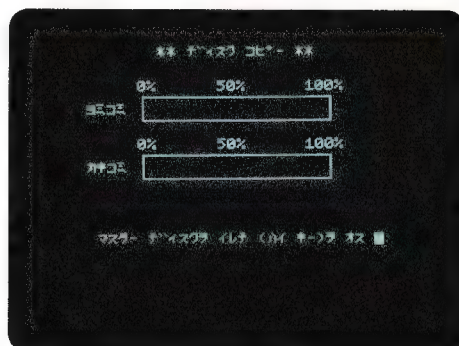
i）ドライブが1台の場合は 1 はい

ii）ドライブが2台の場合は 2 はい

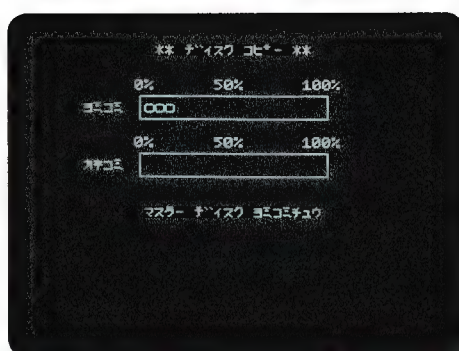
結　果

i）の場合、右の画面の表示になります。はい を押してください。

ii）の場合は94頁の操作 4 に続きます。

6.
メンテナンス

画　面

右の画面のようにマスターディスクの内容をコンピュータが読み込み始めます。

操　作

4 ブランク　ディスクヲ　イレテ　(はいキー)　ヲ　オス。■

マスターディスクを抜き、ブランクディスクを入れて はい

5 マスター　ディスクヲ　イレテ　(はいキー)　ヲ　オス。■

ブランクディスクを抜き、マスターディスクを入れて はい

6 以降、操作 **4** 、**5** をガイドメッセージに従って合計6回繰り返してください。
コピーの進捗状態が帯の中に○印で表示され、終了すると次頁の 結　果 の画面になります。

92頁の操作**3** の ii) の場合は、次のガイドメッセージが表示されます。

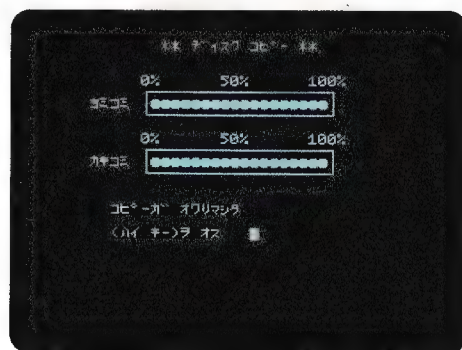
```
マスター　ディスクヲ　[A]　ドライブニ　イレル。
ブランク　ディスクヲ　[B]　ドライブニ　イレル。
ヨウイガ　デキタラ　　(ハイキー) ヲ　オス。
```

4 初期化してあるディスク（ブランク　ディスク）をＢドライブに入れ

[はい]

5 コンピューターが自動的に読み込み、書き込みを実行します。

コピーの進捗状態が帯の中に〇印で表示され、終了すると右のメッセージが出ます。
ブランクディスクを抜いてください。

6. メンテナンス

5)-②データディスクの作成

システムディスク以外に、「株式管理」で扱う株価データや売買データを記録するためのデータディスクを作成します。
ただし、コピー元のディスクに入力してある株価データや売買データそのものはコピーされません。

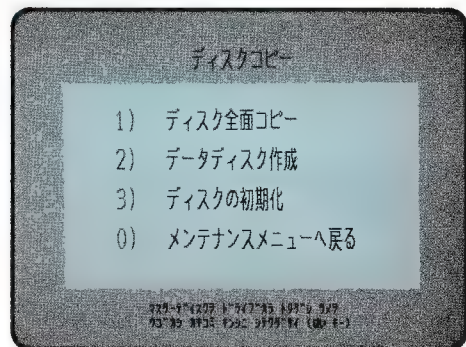
操作の手順は5）ー①ディスクの全面コピーとまったく同じですので、92頁を参照してください。

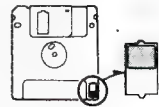
6.
メンテ
ナンス

5)-③ディスクの初期化(イニシャライズ)

ディスクを、この「株式管理」用に使用するためには、株式の初期設定（初期化）をしなければなりません。

画　面

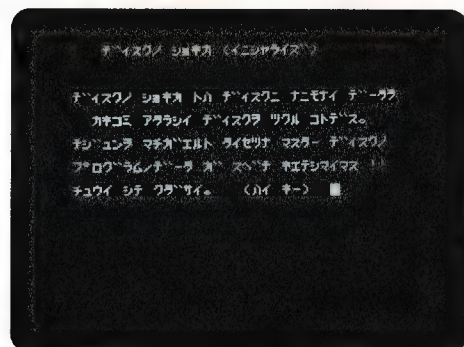
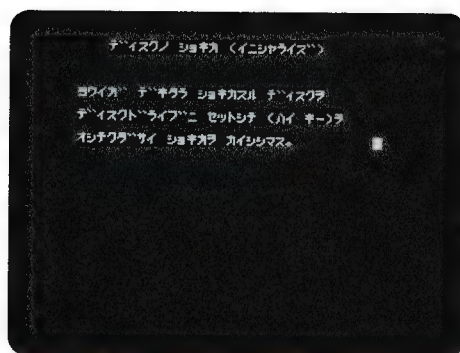
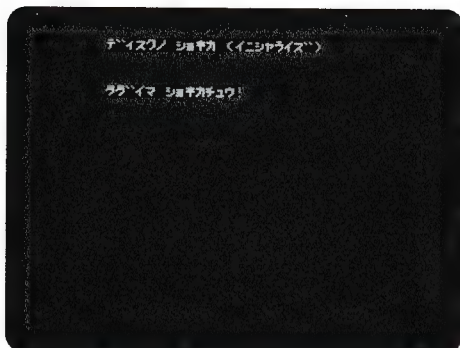
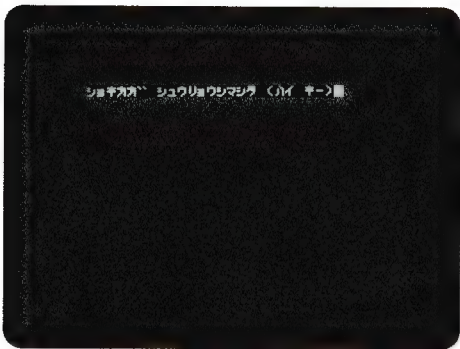
右の画面（ディスクコピーメニューで 3 はい の後、画面下に右のガイドメッセージが出た状態）からスタートします。

操　作

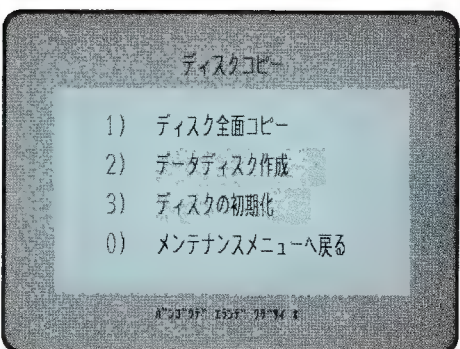
1 マスターディスク（ここではシステムディスクのことです）をコンピュータのドライブから抜き、ディスクの裏側の右下の正方形のツメを下側に動かしてください。（正方形の窓が開いた状態になり、ディスクへの書き込みが防止されます。）

2 操作 1 を終了した状態でマスターディスクを再びドライブに入れ、

はい

結　果

右の画面になり初期化の注意が表示されます。

6.
メンテナンス

4 はい

5 はい

結　果

初期化が終了し、ディスクコピーメニューに戻ります。

注）初期化の操作が終了したら、マスターディスクのツメを書き込み可能の位置に戻して再びディスクドライブにセットします。

6) 日付/時刻設定(調整)

コンピューターにはタイマーが内蔵されていて、メインメニューで日時を表示します。電源をOFFにしても電池で動いています。カレンダーとしても機能し、計算の基礎データになっているので、一度正しく設定してください。また何かの原因で誤差が大きくなった場合は調整してください。

画面

右の画面からスタートします。

例

1987年6月28日10時6分0秒に設定する場合。

操作

1 変更のモードにします。 F1 ：[変更]

2 ＊が表示されるので、それぞれの位置で入力し、日時の設定をします。

8 7 はい （表示と同じ場合は はい でスキップしてもよい）

6 はい 2 8 はい 1 0 はい 6 はい

0 はい

3 設定した日時でタイマーを起動させます。
設定した時刻になった時に F4 ：[登録]

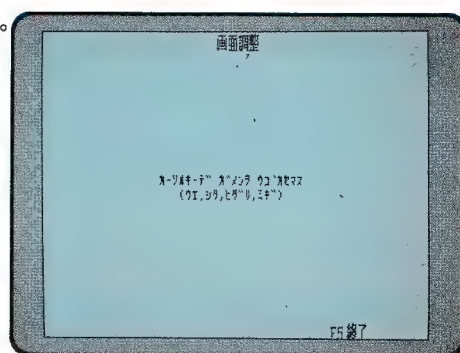
4 タイマーの設定を終了します。 F5 ：[終了]
メンテナンスメニューへ戻ります。

6.
メンテ
ナンス

7）画面調整

モニター（TV）の画面表示の位置を調整することができます。

画　面

右の画面からスタートします。

1. 画面を上へ動かす場合は［上］（続けて押すと順次上へ移動します。）
2. 画面を下へ動かす場合は［下］（続けて押すと順次下へ移動します。）
3. 画面を左へ動かす場合は［左］（続けて押すと順次左へ移動します。）
4. 画面を右へ動かす場合は［右］（続けて押すと順次右へ移動します。）
5. 画面位置の調整を終了する場合は［F5］：[終了]
   メンテナンスメニューへ戻ります。

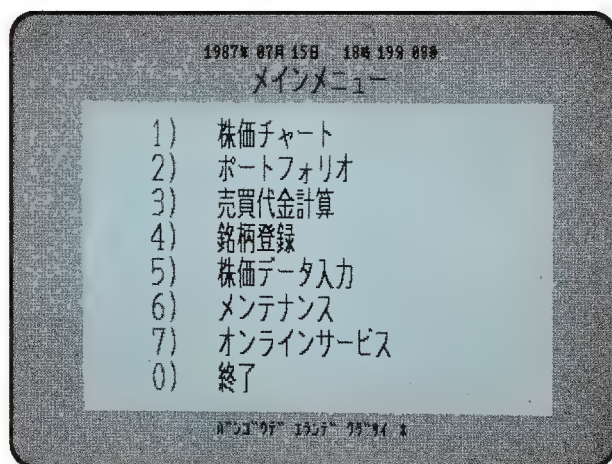
6.
メンテ
ナンス

7. オンラインサービス

電話回線を使って、証券会社のパソコン・ホームトレードの株価データサービスや各種情報サービスを利用することができます。
さらに株価データを受信する銘柄を登録したり、通信の手順をコンピューターに記憶させておくこともできます。

画　面

7）からスタートします。

操　作

メインメニュー画面からスタートします。

[7] [はい] を押します。

7. オンラインサービス

画　面

右の画面から（オンラインサービスメニュー）スタートします。

※年月日を正しく設定しないと、正確な株価データは受信できません。

オンラインサービス

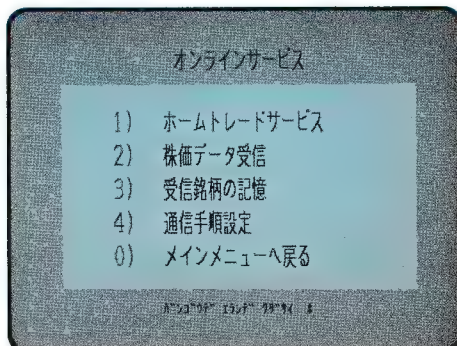
1）　ホームトレードサービス
2）　株価データ受信
3）　受信銘柄の記憶
4）　通信手順設定
0）　メインメニューへ戻る

ﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ *

ガイド

次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

操　作

選択したい項目を決めます。

1）　ホームトレードサービスの場合は　1　はい　（⇨109頁）

2）　株価データ受信の場合は　2　はい　（⇨110頁）

3）　受信銘柄を記録する場合は　3　はい　（⇨115頁）

4）　通信手順を設定する場合は　4　はい　（⇨103頁）

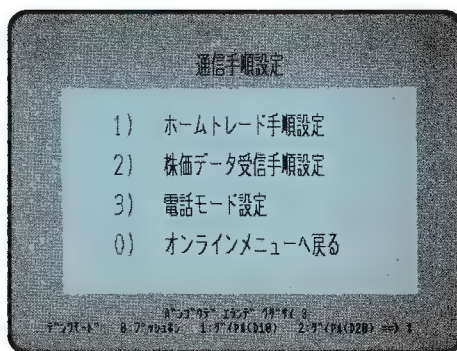
5）　メインメニューへ戻る場合は　0　はい

1) 通信手順設定

オンラインサービスを受けるために、まず通信手順を設定します。一度設定すれば次からはこの操作を行う必要はありません。

画　面　右の画面からスタートします。

ガイド　次のメッセージが出ています。

バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

操　作　選択したい項目を決めます。

1）　ホームトレードの手順を設定する場合は　[1] [はい]　（⇨104頁）

2）　株価データ受信の手順を設定する場合は　[2] [はい]　（⇨106頁）

3）　使用する電話のモードを設定する場合は　[3] [はい]　（⇨108頁）

4）　オンラインメニューへ戻る場合は　[4] [はい]　（⇨102頁）

1)-①ホームトレードの手順設定

最大５種類のホームトレードの手順を設定できます。

画　面　右の画面からスタートします。

ﾎｰﾑﾄﾚｰﾄﾞ手順設定

1) ﾎｰﾑ ﾄﾚｰﾄﾞ 1

2) ﾎｰﾑ ﾄﾚｰﾄﾞ 2

3) ﾎｰﾑ ﾄﾚｰﾄﾞ 3

4) ﾎｰﾑ ﾄﾚｰﾄﾞ 4

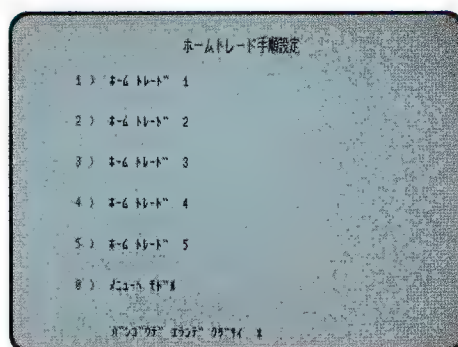
5) ﾎｰﾑ ﾄﾚｰﾄﾞ 5

0) ﾒﾆｭｰﾍ ﾓﾄﾞﾙ

ﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞ ｴﾗﾝﾃﾞ ｸﾀﾞｻｲ ＊

例

ホームトレードコメント	：	ABCショウケン
ホームトレード電話番号	：	999−9999
伝送速度	：	300b／s
伝送コード	：	JIS8
受信キャラクター	：	カナモジ

操　作

1 バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

1）番を選びます。　[1] [はい]

2 ホームトレードコメントを「ABCショウケン」と入力します。
画面の下に文字記号が３列に表示されます。

□ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ( ) :
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ゛ ゜

[上] [下] [左] [右] で □ を動かし、[A] [F3] [B] [F3]
[C] [F3] [シ] [F3] [ョ] [F3] [ウ] [F3]
[ケ] [F3] [ン] [F3] と押した後、確認して [はい] 。

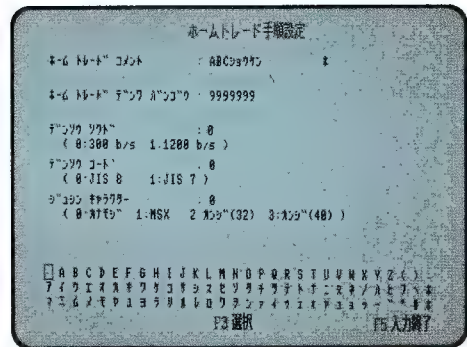
3 ホームトレードの電話番号を数字キーで「9999999」と入力します。
確認して、[はい] 。

4 伝送速度、伝送コード、受信キャラクターは画面の＊の位置でそれぞれに対応する番号を入力し、[はい] 。

7.
オンライン
サービス

結　果

操作 **3** を行った状態が右の画面です。

F5 ：［入力終了］で通信手段設定メニューに戻ります。

受信キャラクターで、2：カンジ（32）か3：カンジ（40）を選択しますと次のメッセージがあらわれます。

```
インターレース　ナシ／アリ　　：０　　　　＊
（０：ナシ　　１：アリ　　）
```

この場合に 1：アリ　を選択しますと、表示される文字の高さが通常の1／2になります。（この時画面がちらつく場合があります。）

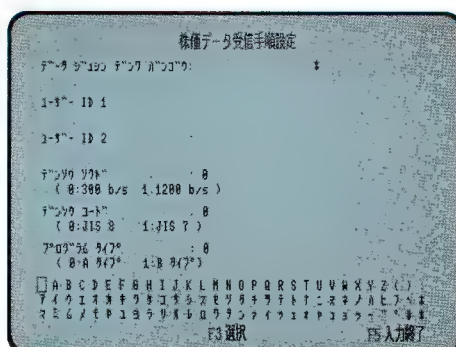
1)-②株価データ受信の手順設定

株価データを受信するための手順を設定します。

画　面

右の画面からスタートします。

例

データ受信電話番号	:	163：0608888888
ユーザーID 1	:	099
ユーザーID 2	:	999999
伝送速度	:	300b／s
伝送コード	:	JIS8
プログラムタイプ	:	Aタイプ

操　作

1. データ受信電話番号「163：0608888888」を文字盤から入力します。画面の下に文字記号が3列に表示されます。

2. ユーザーID 1、2は、画面の＊の位置でそれぞれの数字を入力し、［はい］。(ユーザID 1だけの場合、ユーザID 2のところでは［はい］のみ。)

□ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z ( ) :
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ー ゛ ゜

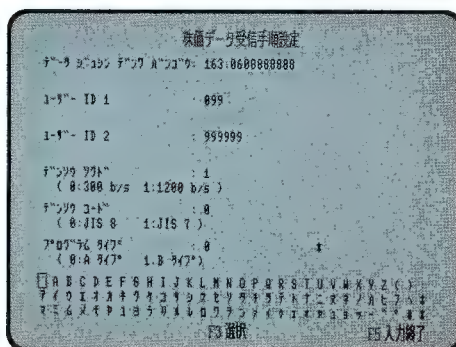
数字は数字キーで入力し、文字は文字盤から選んで入力します。

《文字盤での入力の仕方》［上］［下］［左］［右］で□を動かし、［F3］(間違った場合は消去キーで訂正)。入力した番号を確認して、［はい］.

3. 伝送速度、伝送コード、プログラムタイプは画面の＊の位置でそれぞれに対応する番号を入力し、［はい］。

結　果

操作3を行った状態が右の画面です。

［F5］：［入力終了］で通信手順設定メニューに戻ります。

※プログラムタイプについては、別紙「株式管理オンラインサービスの案内」をご参照ください。

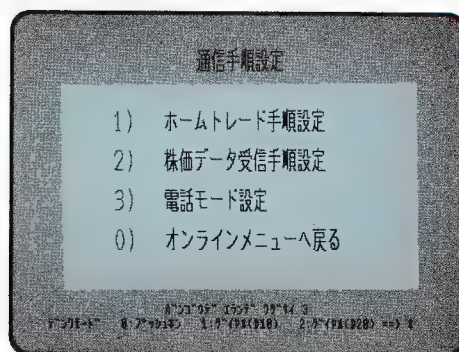
《HB-T600で設定できるホームトレード通信条件》

	通信条件	設定内容
選択可能項目	データ長	JIS7／8
	転送速度	300BPS／1200BPS
	キャラクター	ANK／MSX／漢字（32）／漢字（40）
	インターレス	有／無（漢字32、40の場合有効）
	ダイヤラーモード	TONE／DIAL 10／DIAL 20
固定項目	パリティ	JIS7・・・偶数パリティ JIS8・・・パリティ無し
	ストップビット	1ビット
	Xon／off	有り
	ラインフィードコード（受信）	追加しない
	ラインフィードコード（送信）	削除する
	シフトイン／アウト制御	JIS7・・・有り JIS8・・・無し
	DELコード受信時	NULLにする
	モデムタイプ	300BPS ・・・CCITTV21 1200BPS・・・CCITTV22
	タイムアウト	無し

1)-③電話モードの設定

お使いになる電話のモードを設定します。
もし、お使いになる電話モードがおわかりにならない場合はお近くのNTTにお問い合わせください。

画　面

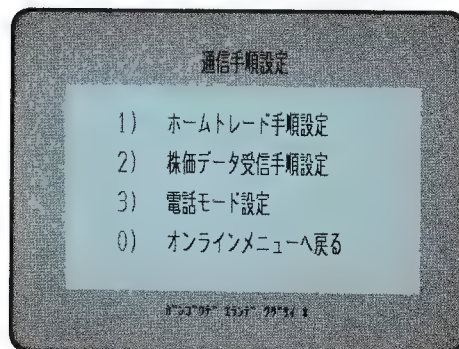
右の画面からスタートします。

操　作

1 プッシュホンをご使用の場合は　[0] [はい]

2 ダイヤル式電話（1秒間に10パルス送り出しタイプ）をご使用の場合は　[1] [はい]

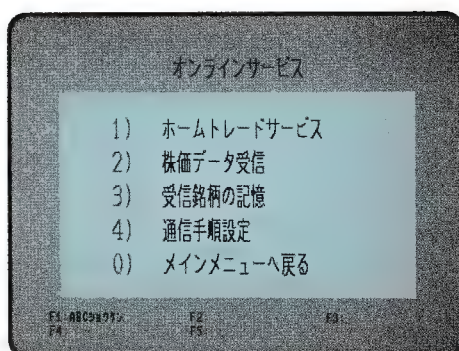
3 ダイヤル式電話（1秒間に20パルス送り出しタイプ）をご使用の場合は　[2] [はい]

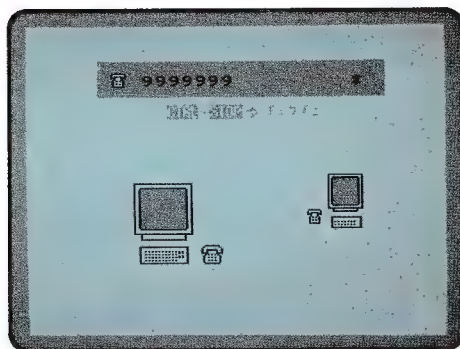
結　果

操作 1 、2 または 3 を行うと右のように通信手順設定の画面になります。

2) ホームトレードサービス

ホームトレードを行う場合の操作です。

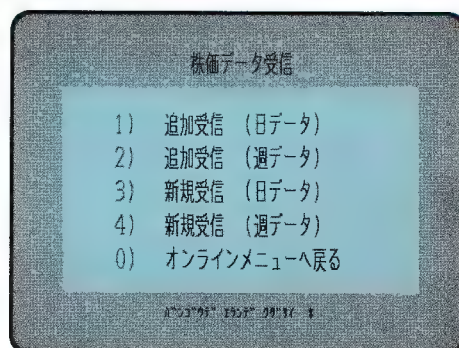
画　面　右の画面からスタートします。

例　1）－①通信手順の設定の操作で設定した「ABC ショウケン」とホームトレードを行います。

操　作　❶ ABC ショウケンを選択します。 F1 ：[ABC ショウケン]

結　果　右の画面のように登録されている「ABC ショウケン」の電話番号が表示されます

※以降の操作につきましては、実際にホームトレードを行う証券会社の「パソコンホームトレード」の操作手順に従ってください。

3）株価データ受信

株価の日データや週データを受信することができます。次頁の注意事項参照。

画　面　右の画面からスタートします。

操　作　バンゴウデ　エランデ　クダサイ　＊

1）日データの追加受信の場合は　［1］［はい］（⇨112頁）

2）週データの追加受信の場合は　［2］［はい］（⇨112頁）

3）日データの新規受信の場合は　［3］［はい］（⇨112頁）

4）週データの新規受信の場合は　［4］［はい］（⇨112頁）

5）オンラインサービスメニューへ戻る場合は　［0］［はい］（⇨ 102頁）

オンラインにおける注意事項

オンラインでデータを受信する場合、要求する銘柄はあらかじめ4.銘柄登録（63頁）で登録しておく必要があります。受信方法には次の4通りがあります。

① 追加受信（日データ）

ディスク上に存在する最近の日データ翌日から、受信日の前日までのデータが受信できます。データが存在しない場合は自動的に150日前から受信日の前日までを要求します。

② 追加受信（週データ）

ディスク上に存在する最近の週データの翌週から、受信日の前週までの週データが受信できます。データが存在しない場合は自動的に150週前から受信日の前週までを要求します。

③ 新規受信（日データ）

受信日より何日前からのデータを受信するか指定（最大150日前）します。（休日が含まれるため受信できるデータ数は要求日数よりも少なくなります。）

④ 新規受信（週データ）

受信日より何週前からのデータを受信するかを指定（最大150週前）します。（週データの場合はほとんど要求数受信できます。）

3)-①日(週)データの新規(追加)受信

ここでは、右の画面の銘柄が受信銘柄（前頁参照）として登録されていると仮定して説明します。

画　面　右の画面からスタートします。

例　右の画面のNo.1)、2) の銘柄の日（週）データを新規（追加）受信する場合。

操　作　F1 次　F2 前　F3 選択　F4 全銘柄　F5 決定

1 受信する銘柄 1）番を選択します。 F3 ：[選択]
〔 1）番の銘柄コードの色が赤になります。〕

(受信銘柄がすでに記憶されている場合はコード番号が赤になっているのでこの操作は不要です。)

2 受信する銘柄 2）番を選択します。
上 下 で ＿＿ を 2）番の銘柄コードに合わせ
F3 ：[選択]〔 2）番の銘柄コードの色が赤になります。〕

さらに別の銘柄を選ぶ場合は、操作 **2** の手順を繰り返します。
他の頁へ移る場合は F1 ：[次] または F2 ：[前]

登録をしてあるすべての銘柄を選ぶ場合は
F4 ：[全銘柄]

一度選んだ銘柄をキャンセルする場合は 上 下 で ＿＿ を銘柄コードに再び合わせ F3 ：[選択]
(赤色の銘柄コードがもとの色に戻ります。)

7.
オンライン
サービス

操作

3 選択した銘柄を決定します。 F5 ：[決定]

（追加受信の場合は、この操作のあとは 7 の操作に移ります。）

4
アカノ　メイガラノ　ショユウデータハ　スベテ　キエテシマイマス。 OK？ OK＝＝＞はいキー

はい

（この操作をするとディスクに記憶されているこの銘柄のデータはすべて消えます。都合が悪い場合は ESC 。）

5
ナンニチ　マエカラノ　データヲ　ジュシン　シマスカ（サイダイ150ニチ）＊

150を入力します。 1 5 0 はい

6
2メイガラノ 86、12、18、カラ 87、5、17、ノ　データヲヨウキュウシマス OK？ OK＝＝＞はいキー

確認後 はい

7
2メイガラノ　データヲ　ジュシンシマス。ヤク 11フンカカリマス。OK＝＝＞はいキー

銘柄を確認して はい

8
ユーザーID1ヲ　イレテクダサイ＝＝＞＊

ユーザーID1を入力し はい

（通信手順が設定してあれば数字が表示されますのでそのまま はい ）

9
ユーザーID2ヲ　イレテクダサイ＝＝＞＊

ユーザーID2を入力し はい

（通信手順が設定してあれば数字が表示されますのでそのまま はい ）

7. オンラインサービス

操　作

10 〔キー〕　＊

電話番号を入力し [はい]

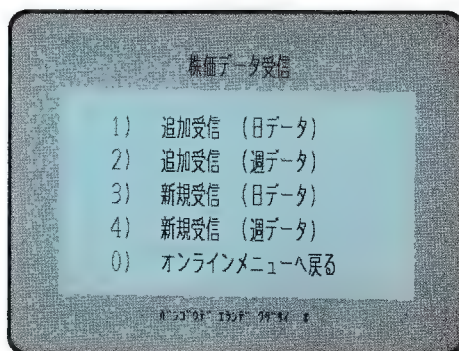
（通信手順が設定してあれば電話番号が表示されますのでそのまま [はい]）

11 回線が接続されると

```
アンショウ　バンゴウ＝＝＞＊
```

暗証番号を入力し [はい]

結　果

データを受信し、ディスクに書き込みます。
選択した銘柄全部のデータの書き込みを終了すると株価データ受信のメニュー（110頁）へ戻ります。

呼び出し中に中断したい場合は、何かキーを押してください。下記のメッセージがあらわれます。

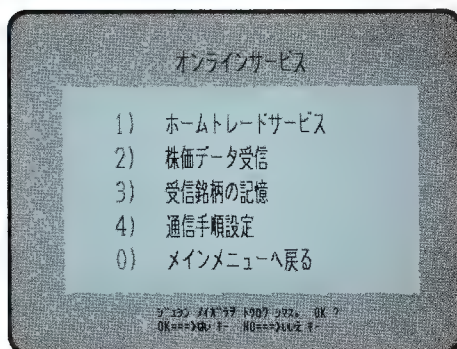
```
ツナガリマセン　モウイチド　ダイヤル　シマスカ ？
YES＝＝＝＞はい　キー　NO＝＝＝＞いいえ　キー
```

再度、呼び出す場合には [はい] 、中断してしまう場合は [いいえ] を押します。

4）受信銘柄の記憶

株価データを受信した銘柄を登録しておくと、コンピューターが記憶し次回の株価データ受信の手間がはぶけます。
株価データを受信した直後に操作します。

画　面

右の画面からスタートします。

操　作

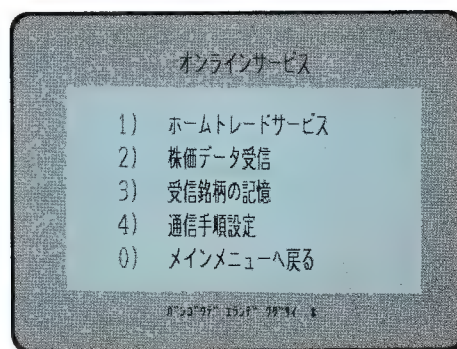
1

ジュシン　メイガラヲ　トウロク　シマス。　OK？
OK＝＝＞はいキー　　NO＝＝＞いいえ

受信銘柄を登録（記憶）させます。［はい］

（登録しない場合はいいえキーを押します。）

結　果

受信銘柄が記憶され右の画面（オンラインサービスメニュー）に戻ります。

◆HB-T600の主な仕様

通信仕様

通信方式	V.21（CCITT）準拠、V.22（CCITT）準拠
通信速度	300bps,1200bps
使用回線	電話回線
ダイヤル形式	トーンダイヤル
	パルスダイヤル（10pps／20pps）
伝送帯域	300～3400Hz
搬送周波数	V.21　1080±100Hz, 1750±100Hz
	V.22　1200Hz, 2400Hz
変調方式	V.21　FSK（周波数変調）
	V.22　PSK（位相変調）
路線インピーダンス	600Ω

CPU

使用プロセッサー	Z－80A相当
クロック周波数	3.58MHz（M1 サイクル時に1WAIT）
リセット	電源投入／手動　メモリー内容は保持されない

メモリー

メインメモリー	128KバイトRAM実装
ビデオRAM	128Kバイト実装
内蔵ROM	MSX2－BASIC　48Kバイト
	MSX－Disk　BASIC　16Kバイト
	漢字ROM　JIS第一水準
	表示用拡張BASIC　16Kバイト

ディスプレイ制御部

CRTコントローラー	V9938相当
出力インターフェース	RGBアナログ信号　0～0.7V±20%,75Ω
	コンポジットビデオ信号　1Vp－p, 75Ω, 同期負

フロッピーディスクドライブ

使用ディスク	3.5インチ
使用面	両面
記憶容量	アンフォーマット時　1Mバイト
	フォーマット時　720Kバイト
アクセス時間	平均：350msec.

入力／出力インターフェース

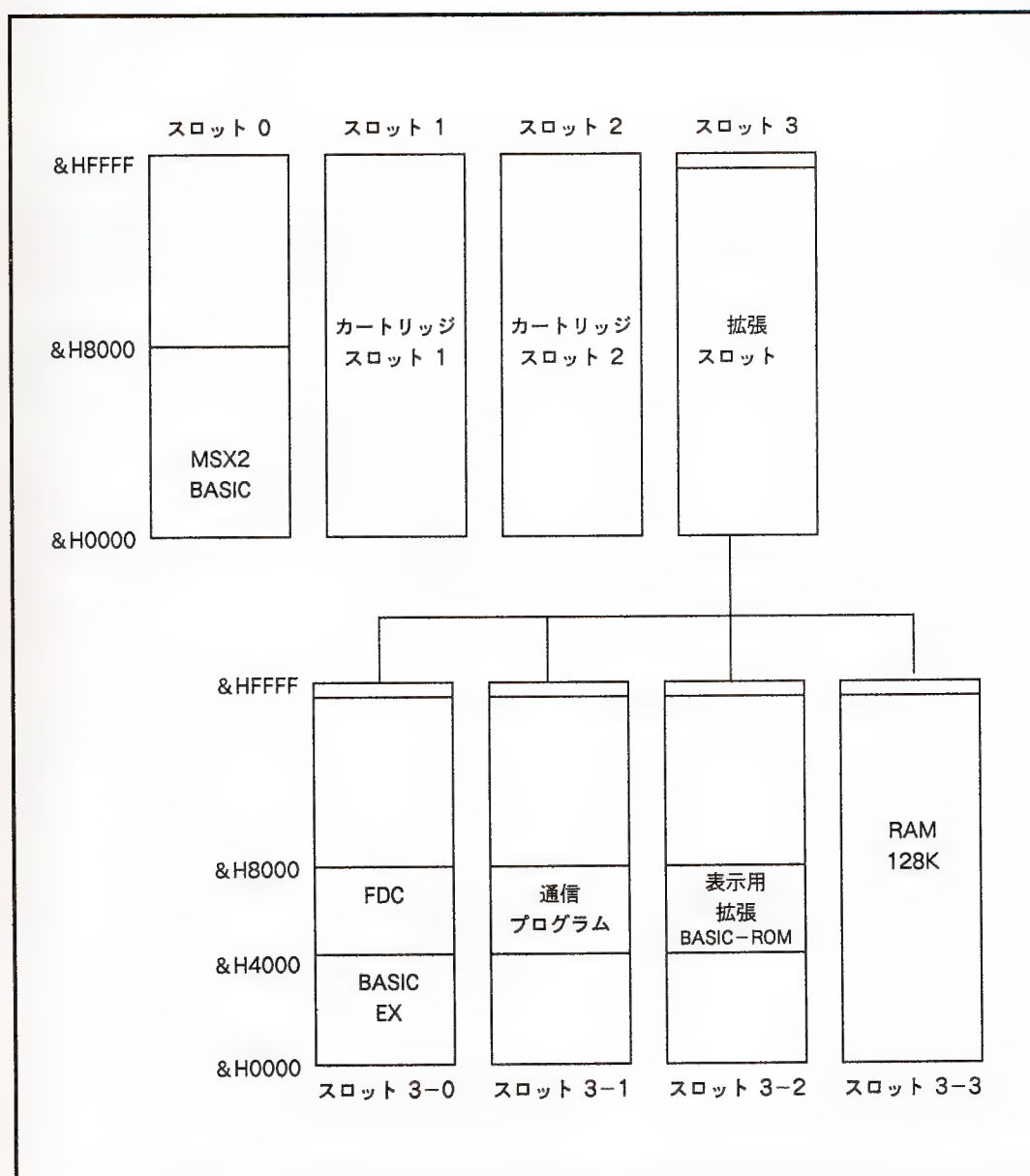
キーボード	専用キーボード（28キー）
サウンドジェネレーター	AV－3－8910相当
プリンターインターフェース	14ピンアンフェノールコネクター　標準8ビットパラレル転送
汎用I／0ポート	9ピン　D－SUBコネクター　(2)
MSXカートリッジスロット	本体2個実装
カレンダー時計内蔵（データバックアップ機能付き）	

一般仕様

電源	AC100V±10%, 50／60Hz
消費電力	48W（最大）
使用条件	温度　5℃～35℃　湿度　20～80%
保存温度	－15℃＋60℃
外形寸法	本体　355×76×325mm（幅×高さ×奥行き）
	専用操作パッド　148×34.5×178mm（幅×高さ×奥行き）
重量	本体　6.0kg　　専用操作パッド　1.2kg
付属品	P8参照

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

◆メモリーマップ

スロット 0
スロット 1
スロット 2
スロット 3
&HFFFF
&H8000
&H0000
MSX2
BASIC
カートリッジ
スロット 1
カートリッジ
スロット 2
拡張
スロット
&HFFFF
&H8000
&H4000
&H0000
FDC
BASIC
EX
通信
プログラム
表示用
拡張
BASIC−ROM
RAM
128K
スロット 3−0
スロット 3−1
スロット 3−2
スロット 3−3

◆仕様

[機　能]　　機能一覧表（23頁）参照

[入　力]　　登録可能銘柄数　：　40銘柄
入力可能な日データ数　：　1銘柄につき150日分
入力可能な週データ数　：　1銘柄につき150週分
ファンド設定可能数　　：　ファンド数5
1ファンドにつき10銘柄

[表　示]　　チャート表示

チャート		表　示	追加表示
ローソク足	日	株価の日データのローソク足、出来高 最大100日分	移動平均線（最大50日） 株価目安線
	週	株価の週データのローソク足、出来高 最大100週分	移動平均線（最大50週） 株価目安線
サイコロジカルライン	日	株価の日データのローソク足 最大100日分 日データのサイコロジカルライン 最大100日分	移動平均線（最大50日） 株価目安線
新値三本足	日	日データ終値による新値三本足 最近150日のデータを対象	
逆ウォッチ曲線	日	日データ終値と出来高の30日移動平均との交点　最大150日のデータを対象	
	週	週データ終値と出来高の13週移動平均との交点　最大150週のデータを対象	
株価比較	日	指定日を100とした日データ終値の指数化グラフ 最大100日分、最大4銘柄同時表示	
	週	指定日を100とした週データ終値の指数化グラフ 最大100週分、最大4銘柄同時表示	

[株売買時の計算式]

	売買種別 / データ	買	取得	売	処分
今回売買のデータ	売買株数（株）	手入力			
	売買株価（円）	手入力	[受渡代金] ／ [売買株数] の小数点3位以下切捨て	手入力	[受渡代金] ／ [売買株数] の小数点3位以下切捨て
	受渡代金（円）	[約定代金] ＋ [手数料・税]	手入力	[約定代金] － [手数料・税]	手入力
	売買損益（円）	──────（買、取得では発生しない）		[受渡代金] － [旧取得価額] － [新取得価額]	
売買が発生した銘柄の情報	取得株数（株）	[旧取得株数] ＋ [売買株数]		[旧取得株数] － [売買株数]	
	取得価額（円）	[旧取得価額] ＋ [受渡代金]		[単価] × [新取得株数] の小数点未満切捨て	
	単価（円）	[新取得価額] ／ [新取得株数] の小数点3位以下切捨て		────────────	
ファンドの情報	取得株数（株）	ファンド内全銘柄の取得株数の和			
	取得価額（円）	ファンド内全銘柄の取得価額の和			
	売買損益（円）	ファンド内全銘柄の損益の和（売買経過表の表示で期間指定の場合は期間内の損益の和を表示している）			

注）①金額や株数の表示データが、ある桁数を越えた場合の表示。
　例）表示桁数6桁でデータが100,000,000⇒10000万あるいは100百万。

②金額に計算上で小数点未満の値がある場合は、小数点未満切捨てで表示される。

[保有分析の計算式]

1.ファンド内各銘柄の情報

[単価]（円） ＝ [取得価額] ／ [取得株数]
の小数点３位以下切捨て（表示は小数点未満切捨て）

[時価]（円） ＝ 日データの存在する直近終値

[時価評価額]（円） ＝ [時価] × [取得株数]

[評価損益]（円） ＝ [時価評価額] － [取得価額]

[時価評価構成比]（％） ＝ （[時価評価額] ／ [ファンド時価評価額]）×100

[評価損益率]（％） ＝ （[評価損益] ／ [取得価額]）×100

2.ファンドの情報

[時価評価額]（円） ＝ ファンド内各銘柄の時価評価額の和

[評価損益]（円） ＝ ファンド内各銘柄の評価損益の和

注）本ソフトで扱い可能な年月日の範囲は下記期間に限られます。
1980年1月1日～1999年12月31日
その為、ユーザから管理したい売買データが上記期間の範囲外の場合でも、上記期間内データとして扱ってください。

◆活用事例の紹介

1. Aさんの場合［株価分析］

Aさんは、自分がよく売買する銘柄のローソク足を、グラフ用紙に手書きで毎日書き込んでいましたが、この［株式管理］で、速くきれいに正確に書けるようになりました。ローソク足だけでなく、サイコロジカルラインや新値三本足、逆ウォッチ曲線、株価比較などとさまざまな角度からの分析が可能になり、有効とわかっていても計算が面倒な移動平均線がいとも簡単に表示できて、総合的な株価判断が可能になりました。

2. Bさんの場合［売買管理］

Bさんは大変多忙な方で、しかもひんぱんに売買をするために、売買損益の正確な把握が困難で、ややもすると自分の現在の保有銘柄さえ不確かになる有様でした。

「株式管理」のポートフォリオをフルに活用して、確実な管理と投資記録ができるようになり、大変喜んでおられます。奥様が扱いになっておられる銘柄も別ファンドで設定され、夫婦仲良く「株式管理」を操作しておられます。

3. Cさんの場合［売買試算、情報収集］

Cさんは、株式投資はまだやったことがないまったくの素人です。コンピューターも今までいじったこともありません。興味はあるのですが、虎の子のお金を投資するには充分に研究し、納得してからと考えておられました。

そこで「株式管理」で証券会社から株価情報をオンラインサービスで集め、売買ゲームから始めました。売買試算をしながら株式の研究をされ、株式に関しては玄人はだし。知らないうちにコンピューターやパソコン通信にも自信がつきました。今度からは実戦で儲けてみようとはりきっておられます。

この使用説明書は［株式管理］の操作法を中心に説明してあります。
本ソフトを活用しての株式投資の理論的説明やテクニックなどについては、市販の書籍をご覧ください。

◆基本的用語の略説（本ソフトに関連のもの）

[移動平均線]

n日（週）の株価移動平均線とは、過去n日（週）の平均株価を順次プロットし、折れ線グラフにしたもの。
移動平均線の組合わせや株価との比較から、相場の傾向を分析することが出来る。

[終値]

1日のうちで、最後に成立した取引値段。

[額面]

会社の定款に定めた1株の金額。20円、50円、500円、50,000円等がある。

[株価チャート]

株価の足どりを図式化して記録したもので、代表的なものとしてローソク足、サイコロジカルライン、新値三本足、逆ウォッチ曲線などがある。

[逆ウォッチ曲線]

横軸に出来高、縦軸に株価をとり、それぞれの交点をプロットにつないだチャート。
一般的に左廻りの線になることが多いのでこの名がある。

[権利落ち]

増資新株の割り当ての権利は割当日の4日前に消失し、理論的には、これらの株のプレミアムに見合って株価は下がる。
広義には配当の権利が消失する時も含めることがあるが、普通はこの場合「配当落ち」として区別している。
（本ソフトでは、権利落ち情報を入力することにより、権利落ち調整値を乗じてて補正、マークを表示したりする。）

[コード]

各銘柄別につけられた4桁の数字。
「会社情報」や「四季報」に記載されている。

[サイコロジカルライン]

直近の12日間の中で、終値が前日比プラスになった日の日数（%で表示する場合もある）をプロットしてつないだチャート。

[市場]

株式の売買取引が実際に行われる証券取引所の区別。
東京、大阪など全国に8ヵ所ある。

[週足]

週単位でみた株価の足どり。

[新値三本足]

高値が前日（前々日等・・・）の高値を（3本抜いて）更新した場合、陽線（本ソフトでは赤い枠）で表示し、安値を更新した場合、陰線（本ソフトでは青の塗りつぶし）で表示したチャート。
「新値三本抜き足」とか「三線転換法」などと呼ばれることもある。
（本ソフトでは直近150日前の株価を基準にし、権利落ちがあった場合は調整値で補正する）

[高値]
その日の最も高い取引値段。

[出来高]
証券取引所内で取引が成立した株数。
(本ソフトでは単位は千株)

[手数料テーブル]
株の売買にさいして証券会社に支払う委託手数料の料率表。
約定代金により料率が異なり、本ソフトの売買代金計算のデータになる。変更された場合は、メンテナンスで更新しておく必要がある。

[取引単位]
株の売買取引の最小単位株数。
普通は1,000株であるが、100株や1株の銘柄もある。

[始値]
1日のうちで、最初に成立した取引値段。

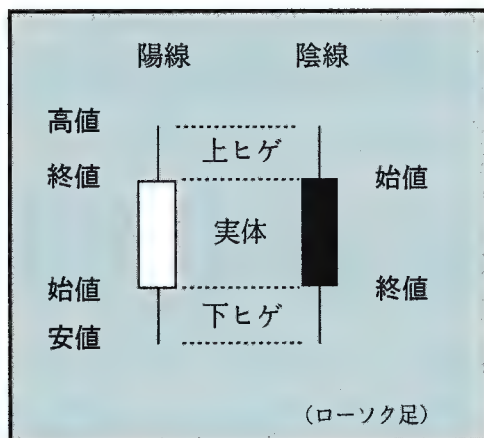
[日足]
1日の株価の足どり。

[ポートフォリオ]
投資する株の銘柄の組合わせ。

[銘柄]
取引の対象となる会社名。
増資して新株が発行された場合、新株は旧株とは別銘柄として取り扱われる。

[安値]
その日の最も安い取引値段

[ローソク足]
最もよく使われるチャートでローソクの形に似ている。
始値より終値が高い場合、白で示し(本ソフトでは赤い枠)陽線と呼ぶ。逆に始値より終値が安い場合、黒で示し(本ソフトでは青の塗りつぶし)陰線と呼ぶ。
始値から終値までの部分を「実体」といい、高値と安値は、それぞれ実体の上下に細い線(ヒゲ)で表示する。
週足で表示する場合はその週の中での値をとる。

(ローソク足)

◆保証書とアフターサービス

保証書

●この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。(保証期間は、お買い上げ日より1年間です。)

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

このディスクは HB-T600以外のパーソナルコンピューターでは使用できません。